ミュージックバード対応 CS チューナー

Conclusion C–T100CSX

取扱説明書

港北ネットワークサービス株式会社

はじめに

この度はミュージックバード対応 CS チューナー Conclusion C-T100CSX をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本機はミュージックバードチューナーのハイエンド機として開発された C-T1CS の後継機で、24bit 放送対応の新世代チューナー基板を搭載、電源回路にリザーブ電源を採用、オーディオ回路にもさらに高音質部材を投入したフラグシップモデルです。

安全にご使用頂けるよう、機器に接続する前に本書をご一読されることを推奨致します。接続後はいつでも本書を参照できるように大切に保管ください。

目次

はじめに・目次

1.1 付属品を確認する ―――― P 2
1.2 安全のために ―――― P 3

2.1 各部の名称と働き　－フロントパネル－ ―――― P 6
2.2 各部の名称と働き　－リアパネル－ ―――― P 7
2.3 各部の名称と働き　－リモコン－ ―――― P 8

3.1 使用するまでの準備　－受信契約－ ―――― P 9
3.2 使用するまでの準備　－アンテナ－ ―――― P10
3.3 使用するまでの準備　－スマートカード－ ―――― P12
3.4 使用するまでの準備　－リモコン－ ―――― P13
3.5 使用するまでの準備　－初期設定をする ―――― P14

4.1 便利な機能を使う　－タイマープレイ機能－ ―――― P17
4.2 便利な機能を使う　－スリープタイマー機能－ ―――― P22

5.1 その他の設定　－表示の明るさを調整する－ ―――― P23
5.2 その他の設定　－リモコンを無効にする－ ―――― P25
5.3 その他の設定　－スタートチャンネルを設定する－ ―――― P27
5.4 その他の設定　－番組情報を更新する－ ―――― P29

6.1 内部動作モードを変更する ―――― P30
6.2 外部クロック信号入力機能を使用する ―――― P31
6.3 簡易 DAC 機能を使用する ―――― P32

7.1 困ったときは－工場出荷設定に戻す－ ―――― P33
7.2 困ったときは－エラー表示一覧表－ ―――― P35
7.3 困ったときは－症例別－ ―――― P36

8. よくある質問　－A001 が出て受信できない（コンバータ周波数の変更）－ ―――― P37

9. メニューモード一覧 ―――― P39

１０. 本機の仕様 ―――― P41

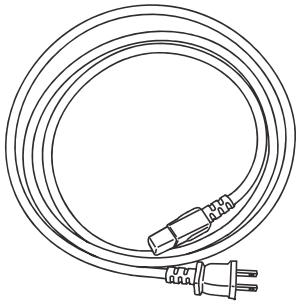
１１. お問い合わせ先 ―――― P41

１２. 保証とアフターサービス

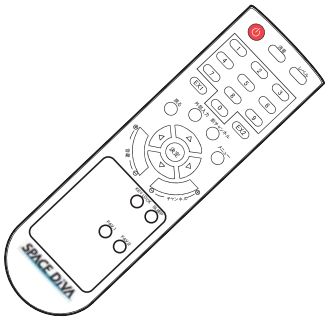
1.1 付属品を確認する

まず始めに付属品をご確認ください

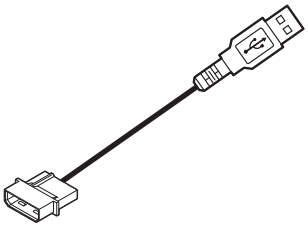
（本書）



（電源ケーブル）

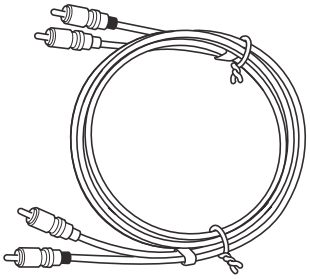


（リモコン）

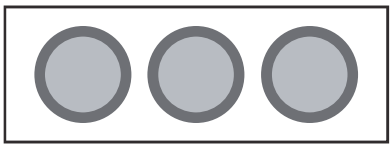


（MBX-1接続用ケーブル）*1

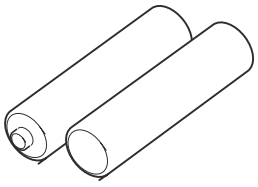
（スマートカード）



（オーディオケーブル）



（キズ防止シート）



（単四乾電池）

＊1）曲目ディスプレイMBX-1を本機と接続する際に使用します。本機リアパネルのOPTION端子と
MBX-1付属ケーブルをこのケーブルで接続します。

1.2 安全のために

本機を安全にご使用頂くためにお守り頂きたいことが記載されています

■表示について

本書では誤った使い方すると想定される危険性別に記号を用いて説明しています。
使用している記号は次のとおりです。

⚠警告---- 誤った使い方をすると、火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意---- 誤った使い方をすると、怪我をしたり、家財に損傷を与えたりする可能性が想定される内容です。

高温注意

感電注意

---- これらのマークは注意を促しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

---- これらのマークは禁止事項を示しています。

電源プラグを抜く

必ずする

---- これらのマークは必ず実施しなくてはならないことを示しています。

⚠警告

異常がある状態で使用しない

故障の際や次のような場合は使用せずに、すぐに電源プラグを抜き、当社までメンテナンスを依頼して下さい。

電源プラグを抜く

- 発煙している、異臭がする、変な音がする
- 本機に液体がかかった、内部に異物が混入した
- 本機を落とした

キャビネットを開けない、分解しない

分解禁止

お客様自身による内部の点検や改造は、火災や感電の原因となります。
点検のご依頼や改造は当社までご相談下さい。

⚠警告

本体の上にものを置かない

使用中は温度が上昇することがあります。効率よく排熱できるよう、本機上面にものを置かないでください。また、次のことを順守下さい。

禁止

・本機の上部に物を置かない
・本機の全面および背面に 20cm 以上の十分な隙間を設ける
・本機を発熱する物（アンプなど）の上に設置しない
・通風の無い環境で使用しない
・室温 35 度以上の環境で使用しない

水気のある場所で使用しない

本機に水滴や液体が混入すると、火災や感電の原因となります。次のことを順守下さい。

水濡れ禁止

・浴室など湿度の高い場所で使用しない
・本機の上部や周辺に水や液体が入ったものを置かない
・水滴がかかる場所で使用しない
・加湿器の近くに設置するなど、水蒸気がかかる場所で使用しない

電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルの取り扱いを誤ると火災や感電の原因となります。次のことを順守下さい。

禁止

・電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せた状態で使用しない
・電源ケーブルを束ねた状態で使用しない
・電源ケーブルを加工したり、傷つけたり、引っ張ったりしない
・電源ケーブルをコンセントに接続した際、突っ張った状態になるような場所に設置しない
・熱器具の近くなど、電源ケーブルが加熱されるような場所に設置しない

雷が鳴り出したら操作しない

禁止

雷が鳴っている際に本機やケーブル類、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機内部に異物を入れない

禁止

異物が混入すると、火災や感電の原因となります。特にお子様がいる環境ではご注意下さい。

⚠注意

水平で十分な強度のある場所に設置する

禁止

本機は約 7.8 kg の重量があります。不安定な場所に設置すると、思わぬ事故や怪我に繋がる恐れがあります。振動がなく、安定し、水平で十分な強度がある台に設置して下さい。

日本国内のみで使用する

禁止

本機は日本の標準電圧（交流 100V）で設計されています。表記の電源電圧以外で使用しないでください。

電源プラグは確実に差し込む

禁止

電源ケーブルや電源コネクタの取り扱いを誤ると火災や感電の原因になります。

屋外で使用しない

禁止

本機は室内で使用することを前提に設計されています。
本機に直射日光が当たるようなところでの使用を避けてください。

業務用途で使用しない

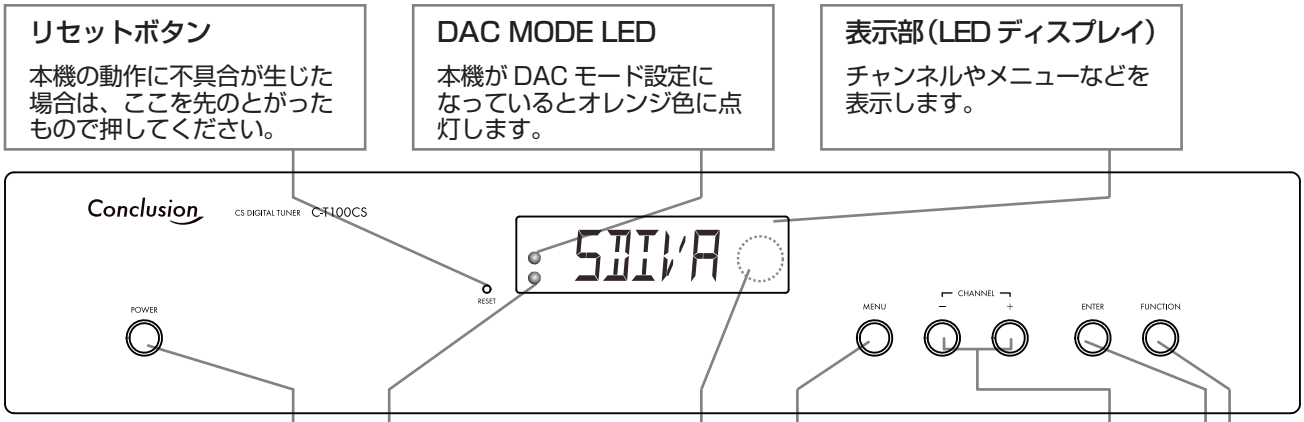
禁止

本機は民生機器です。業務用途で使用しないでください。

2.1 各部の名称と働き　ーフロントパネルー

この項では本機に実装されているボタンや端子類について説明します

［フロントパネル］



リセットボタン

本機の動作に不具合が生じた場合は、ここを先のとがったもので押してください。

DAC MODE LED

本機が DAC モード設定になっているとオレンジ色に点灯します。

表示部（LED ディスプレイ）

チャンネルやメニューなどを表示します。

POWER ボタン

本機の電源をオンにしたり、スタンバイにしたりします。

リモコン受光部

リモコンの受光部になっています。ものでふさがないようにしてください。

CHANNEL ボタン

チャンネルを上げたり、下げたりします。長押しすると 10 ずつ変更できます。

MENU ボタン

各種設定を行うメニューモードを表示させたり、消したりします。

ENTER ボタン

メニューモードで設定変更時、変更を適用する際に使用します。

スタンバイ LED

本機の状態を色と明滅で表します。

【通常使用時】

赤色点灯・・・本機が待機状態になっています。

消灯・・・本機が起動しています。

【受信レベル表示時】※1

緑色点灯・・・ミュージックバードの放送を受信可能です。

緑色点滅・・・ミュージックバード以外の衛星を受信しています。緑色に点灯するようアンテナの方向を調整してください。

消灯・・・ミュージックバードの放送を受信できていません。

※1）受信レベルは何らかのチャンネルを受信している状態から、本機の MENU ボタンを 1 回押し、ENTER ボタンを押すと表示できます。

FUNCTION ボタン（※）

メニューモードから抜けたり、一つ前のメニューモードに戻ります。

※FUNCTION ボタンについて

放送受信時にこのボタンを押すと、表示が VOL＊＊になり、音量を調整するモードになりますが、本機ではこの機能で音量を調整することはできません。接続したアンプ側で調整してください。誤って押した場合は、もう 1 度押して元の表示に戻してください。

2.2 各部の名称と働き　ーリアパネルー

この項では本機に実装されているボタンや端子類について説明します

［リアパネル］

アンテナ入力端子

アンテナを接続します。
F 型接栓に対応しています。

DAC モードスイッチ

ON にすると同軸入力された音声が本機の各種音声出力端子から出力されます。

OPTION 端子（＊1）

別売の曲目ディスプレイを接続します。接続する際には本機に付属のケーブルを使用します。

電源入力端子

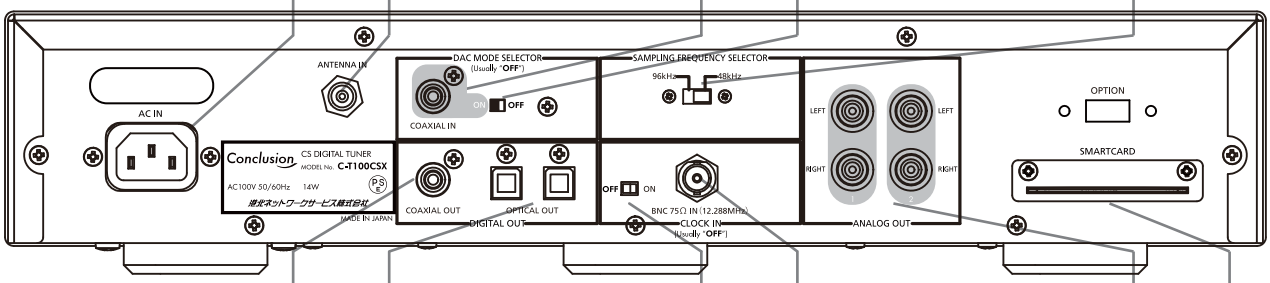
付属の電源ケーブルを接続し、片側をコンセントに差し込みます。

同軸デジタル音声入力端子

CD プレーヤーなどとデジタル同軸ケーブルで接続することができます。

サンプリング周波数変更スイッチ

内部動作モードを変更します。外部クロックを使用する場合は48kHz になります。



同軸デジタル音声出力端子

S/PDIF に準拠しています。他の出力端子と同時に使用することができます。

外部同期切替スイッチ

外部クロックを使用する場合のみ ON にします。

アナログ音声出力端子

添付や市販のRCAステレオオーディオケーブルでアンプ等のアナログ音声入力と接続します。

光デジタル音声出力端子

S/PDIF に準拠しています。他の出力端子と同時に使用することができます。

外部同期信号入力端子

外部クロックを使用する場合、この端子を使用して接続します。

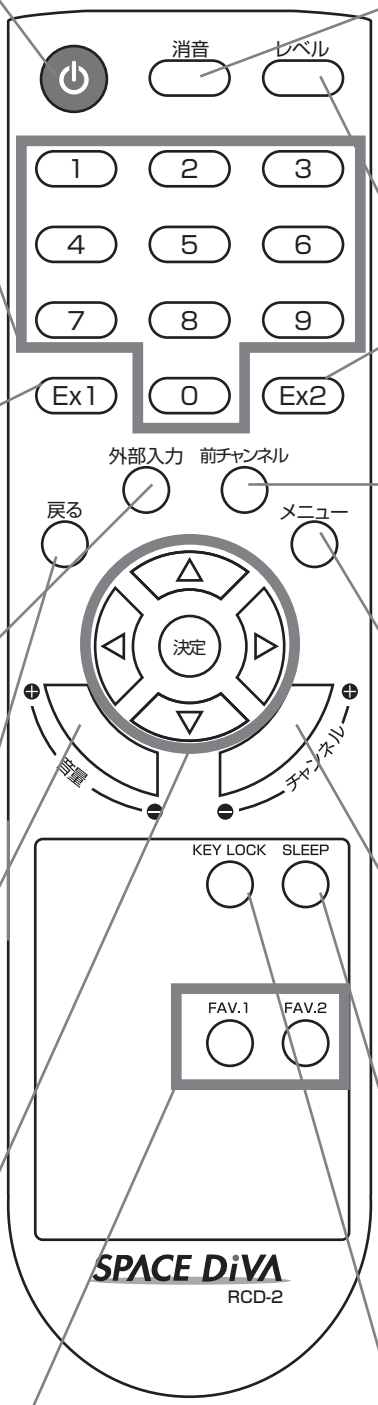
スマートカード差込口

添付のスマートカードを予めここに差し込んで使用します。詳しくは 3.2 項を参照してください。

＊1）曲目ディスプレイを使用するには本機の設定が必要です。ＭＥＮＵボタンを押し、ＳＹＳＳＥＴを選択し、ＮＯＷＯＡを選択後、SET を選択してＹに設定する必要があります。
また設定後は本機の電源をいったんＯＦＦ（スタンバイ状態）にし、再度電源を入れる必要があります。
詳しくは曲目ディスプレイに付属のマニュアルをご覧ください。

2.3 各部の名称と働き　ーリモコンー

この項ではリモコンのボタンとその機能について説明します



電源ボタン

本機の電源をオンにしたり、スタンバイにしたりします。

数字ボタン

チャンネルを直接入力したり、各種設定時に数字を入力するのに使用します。
例えば、[The Classic] を聴取する場合は１・２・１と入力します。

Ex1 ボタン

キーロック設定をしたり、お気に入りチャンネルを設定したりするときに使用します。

外部入力ボタン

本機の LINE IN（アナログ音声入力）に入力した音声に切り替えます。画面の表示は AUX と表示されます。もう一度押すと元に戻ります。

戻るボタン

メニューから抜けたり、一つ前のモードに戻ります。

音量調整ボタン

本機では使用できません。

方向ボタン・決定ボタン

左右ボタンはメニューモードの項目選択に使用します。決定ボタンは選択されている項目で確定する際に使用します。
上下ボタンは CH を送ることができます。

お気に入り CH ボタン

登録するチャンネルを受信している状態で、EX.1 ボタンを押して、続けてこのボタンを押すと、今後はこのボタン一つでそのチャンネルを受信できます。FAV.1 ボタンと FAV.2 ボタンの２つを登録できます。

消音ボタン

本機では使用できません。
音は出ており、LED ディスプレイが点滅しているときは消音ボタンが押されています。誤って押した場合は、もう１回押して元に戻してください。

レベルボタン

受信レベルを表示します。

Ex2 ボタン

使用していません。

前チャンネルボタン

一つ前に聴いていたチャンネルに戻れます。

メニューボタン

各種設定を行う為のメニューモードを表示させたり、消したりします。

チャンネルボタン

＋側を１回押すとチャンネルが一つ上がり、－側を押すと一つ下がります。長押しすると 10 ずつ変更することができます。

スリープボタン

本機を聴取状態からスタンバイ状態へ移行する時間を設定できます。ボタンを押す度に OFF・30 分・60 分となります。

キーロックボタン

EX.1 ボタンを押して、続けてこのボタンを押すと、本体とリモコンのすべてのボタンを操作を無効にできます。もう１度同じ操作をすると解除できます。

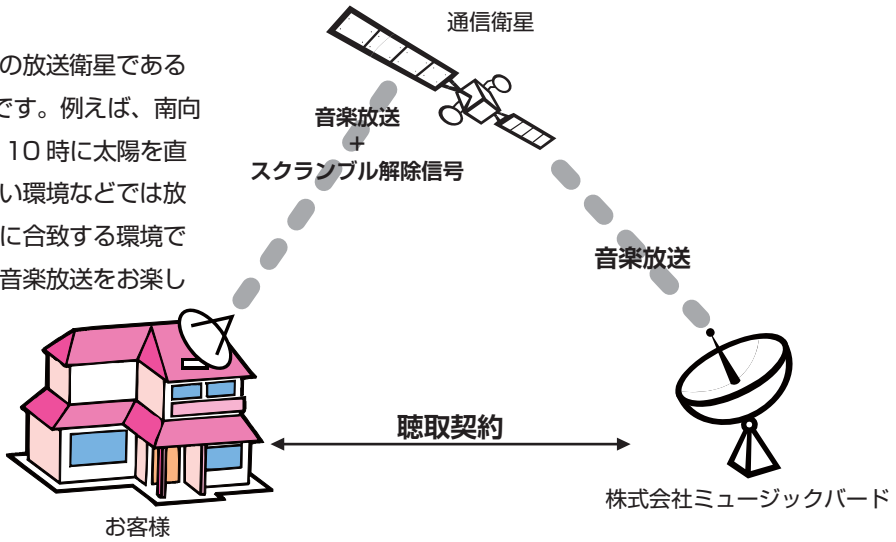
3.1 使用するまでの準備―受信契約―

この製品を使用するにはまずミュージックバードとの契約が必要です。

ミュージックバードとは

ミュージックバードとは東京 FM コミュニケーションズグループ 株式会社ミュージックバードが放送している有料の衛星音楽放送です。

受信するには、ミュージックバードの放送衛星である JCSAT-2B を受信できる環境が必要です。例えば、南向きに高い建物が建っている場所や午前 10 時に太陽を直視できる場所にアンテナを設置できない環境などでは放送を受信することができません。条件に合致する環境であれば、日本全国で高音質なデジタル音楽放送をお楽しみ頂けます。



推奨アンテナとアンテナの設置について

ミュージックバードを受信するには専用の CS パラボラアンテナが必要です。

本機は局部発振周波数 11.3GHz, 11.2GHz, 11.116GHz のアンテナで垂直偏波が受信できるパラボラアンテナに対応しています。

弊社ではミュージックバード製パラボラアンテナ「DMB4503」を推奨しております。受信アンテナについてはミュージックバードカスタマーセンター（03-3221-9000）までご相談ください。

アンテナの設置についてはアンテナに付属のマニュアルをご参照頂くか、近隣の電気店やミュージックバードカスタマーセンターまでご依頼ください。

ミュージックバード
DMB4503

聴取契約について

本機を購入して、まだミュージックバードとの聴取契約をされていない方は次の窓口までお問合せの上、契約手続きを完了させてください。

なお、お問い合わせの際はチューナー ID とスマートカード ID が必要です。チューナー ID とスマートカード ID 番号はチューナー背面部に記載されています。

ご契約に関するお問い合わせは…

ミュージックバードカスタマーセンター　TEL：03-3221-9000

受付時間　＜平日・日・祝 ＞10：00 ～ 18：00（12：00 ～ 13：00 を除く）
※土曜日（祝日含む）はシステムメンテナンスのため休業となります。

3.2 使用するまでの準備ーアンテナー

この製品を使用するには CS 放送専用のアンテナを設置する必要があります。

0. 設置の前に　～お使いになるアンテナをご確認ください～

アンテナは CS 放送専用パラボラアンテナ（45cm 以上をお使いください。BS,CS110 度用パラボラアンテナはご使用いただけません。

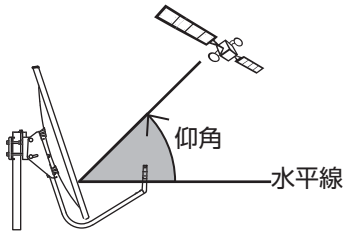
チューナーはあらかじめコンバーター（LNB）の局部発振周波数（LNBFR）を 11300MHz に設定してあります。推奨アンテナ DMB4503の局部発振周波数は 11300MHzです。ご使用のアンテナにより局部発振周波数を変更する場合、3.5 項に従い、局部発振周波数の設定変更を行ってください。

アンテナには偏波面電圧切り替え方式と偏波面固定方式があります。推奨アンテナ DMB4503 は動作電圧 11V の偏波面固定方式のアンテナです。チューナーはあらかじめコンバーターの動作電圧を 11V に設定してあります。お使いのアンテナが偏波面電圧切り替えタイプの場合、垂直偏波の動作電圧に変更が必要です。（垂直偏波 15V の場合、コンバーターの動作電圧の変更が必要です。）また、偏波面固定方式のアンテナで LNB 動作電圧が DC+15V のタイプをご使用になる場合もコンバーター電圧を 15V に変更する必要があります。変更の仕方については 3.5 項をご覧ください。

1. アンテナを設置する

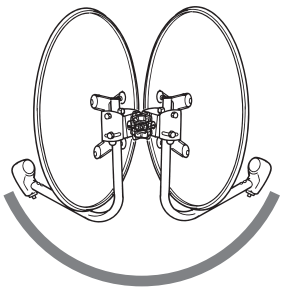
アンテナを設置し、「仰角」、「方位角」、「偏波面の傾き角」を調整します。これらの角度はお住まいの地域により異なります。次ページの表を参考に最も近い地域の値に合わせて調整してください。

●仰角



電波の来る方向を水平面から見上げたときの角度です。アンテナ面と傾きとは必ずしも一致しません。

●方位角



電波の来る方向を真北を基準に時計回りに計った角度です。

●偏波面の傾き角

方位磁石を使って方位を調整する時は・・・

方位磁石が示す北（磁北）は真北より少し西側にずれています。そのため、方位磁石を使って方位を求める時は、下記表の方位角の値に 6.5 度を足してください。

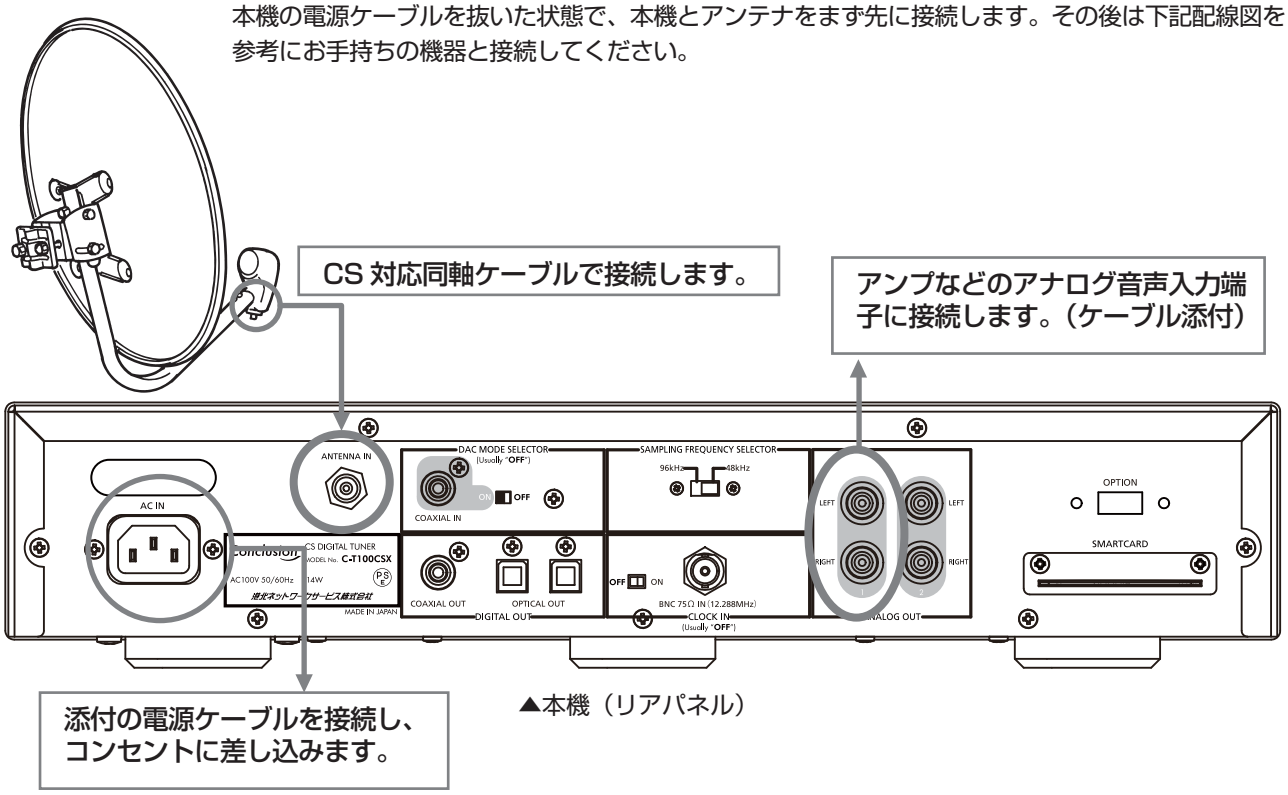
全国各地における JCSAT-2B（ミュージックバードの放送衛星）の仰角・方位角・偏波面の傾き角（単位：度）

都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角
稚　内	36	163	18	大　宮	46	156	11	津	46	151	7	徳　島	45	148	1
旭　川	38	163	18	東　京	46	157	11	大　津	45	150	6	高　知	45	145	2
札　幌	39	162	17	千　葉	46	157	12	京　都	45	150	6	松　山	45	146	2
函　館	40	160	16	横　浜	46	156	11	和歌山	45	149	5	福　岡	43	142	1
青　森	41	160	15	新　潟	44	157	12	奈　良	45	150	6	大　分	45	143	0
盛　岡	42	160	15	甲　府	45	155	10	大　阪	45	150	5	佐　賀	44	141	-2
秋　田	42	159	14	富　山	44	153	9	神　戸	45	149	5	長　崎	44	140	-1
山　形	43	159	13	金　沢	44	152	8	鳥　取	44	148	5	熊　本	44	142	-1
仙　台	44	159	14	福　井	44	151	7	岡　山	44	147	4	宮　崎	46	142	-2
福　島	44	159	13	岐　阜	45	152	7	広　島	44	145	2	鹿児島	45	140	-3
宇都宮	45	157	12	長　野	45	154	10	山　口	44	144	1	名　瀬	47	136	-8
水　戸	46	158	12	静　岡	46	154	9	松　江	43	147	3	那　覇	48	132	-12
前　橋	45	156	11	名古屋	45	152	7	高　松	45	147	3	石　垣	46	126	-18

※表記の値は真北からの角度です。

2. アンテナを本機に接続する

本機の電源ケーブルを抜いた状態で、本機とアンテナをまず先に接続します。その後は下記配線図を参考にお手持ちの機器と接続してください。



▲本機（リアパネル）

1 台のアンテナで 2 台以上のチューナーを使うときは・・・

チューナーを 2 台以上使用する場合はアンテナの送り端子があるチューナーを使用する必要があります。また、コンバーター電源は 1 台目とあるチューナーのみ「ON」に設定し、2 台目以降のチューナーはすべて「OFF」に設定してください。また、市販の衛星放送対応の分配器で片側電流通過タイプのものを使用して接続する場合は、この分配器の電流通過端子に接続したチューナーのコンバーター電源を「ON」に設定してください。

留意事項

・デジタル音声接続では本機と接続する機器によっては相性問題を生じる場合があります。
・本機のデジタル音声出力はコピーワンス（1 回のみ複製可）保護が適用されています。
・あなたが本機を利用して録音したものは、個人的に楽しむなどのほか、著作権者に対し無断で使用することは法律で禁じられています。

3.3 使用するまでの準備ースマートカードー

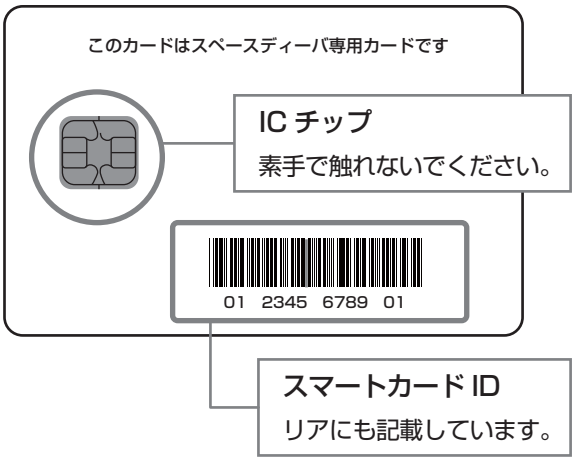
スマートカードは必ず本機にセットして使用します

スマートカードについて

スマートカードはお客様の契約内容を一意に識別する大切なカードです。契約内容を一意に識別するためのコードをスマートカード ID といいます。スマートカード ID はカード裏面にバーコードと共に印字されています。

またこのスマートカードは本機のチューナー基板とひと組で使用されることを前提とした情報が互いに書き込まれているため、他のチューナーで使用することはできません。

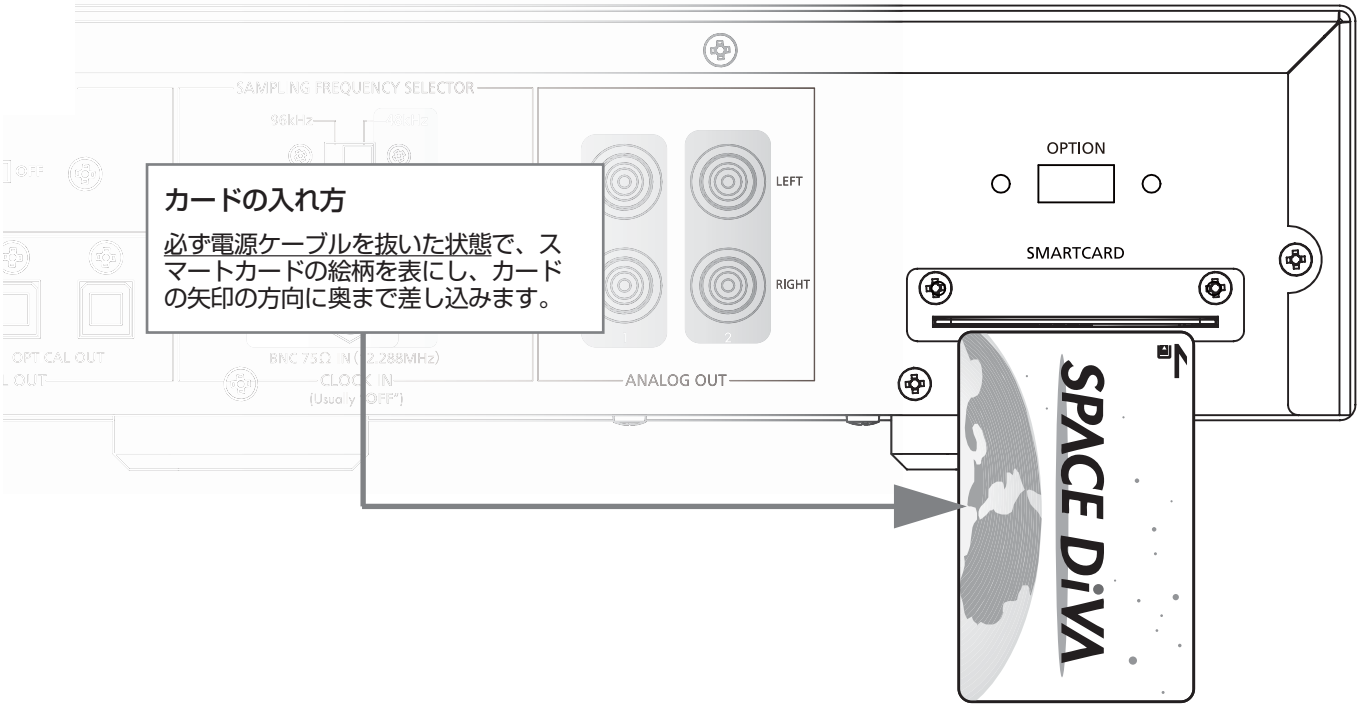
スマートカードには IC チップが内蔵されています。この箇所には素手で触れないよう、ご注意ください。



本機とスマートカードはセットになっており、
スマートカードの再発行は出来ませんので取り扱いや紛失に十分ご注意ください。

スマートカードをセットする

スマートカードは本機を AC コンセントに接続していない状態で左図の要領で本機に確実に挿入してください。



チューナを識別する 2 つの番号　ーチューナー ID とスマートカード IDー

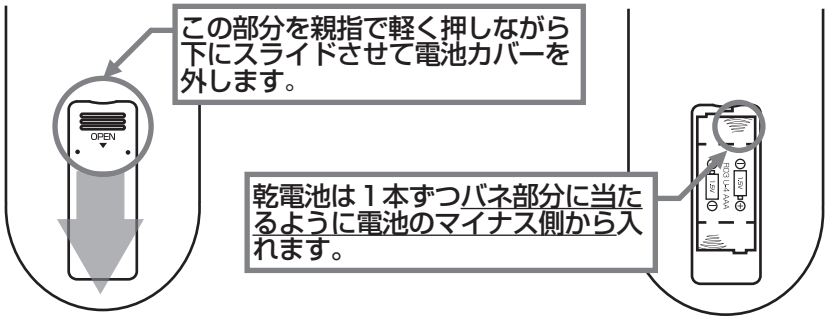
本項に記載しているスマートカード ID のほかに、チューナー ID という番号があります。チューナー ID 番号は SN から始まる本機のシリアル番号です。いずれの番号も本機背面左側（電源ケーブル挿入部上）にラベルで表示されています。

3.4 使用するまでの準備－リモコン－

添付のリモコンについてご使用前に知っておいて頂きたいことを説明します

リモコンに電池を入れる

初めて本機をご購入された場合は付属の単四乾電池をリモコンにセットする必要があります。



リモコンの電池は……

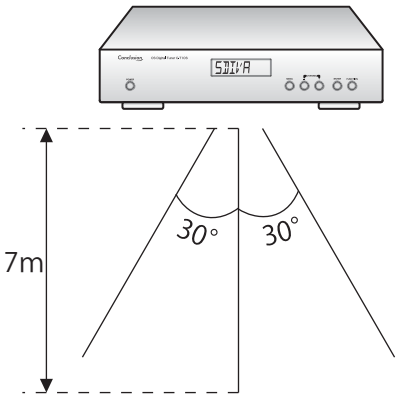
リモコンの電池を購入する際は、アルカリ電池よりもマンガン電池を推奨します。小さな電力を断続的に使用する電源の電池にはマンガン電池のほうがアルカリ電池よりも長持ちし、液漏れの恐れもありません。石油ストーブの電池やガスコンロの電池などもマンガン電池のご使用がお薦めです。

リモコンの有効範囲

リモコンは本機正面から 7m以内、角度は左右それぞれ 30°以内の範囲で使用してください。

また、この範囲でご使用されていても、使用環境によっては到達距離が短くなったり、リモコンが効きにくくなったりする場合がありますので、次の点についてご留意ください。

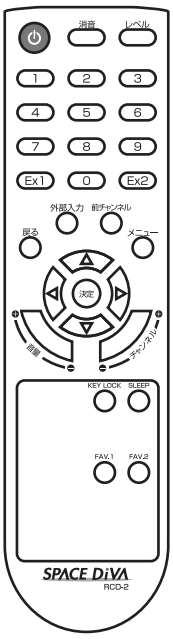
・本機とリモコンの間に障害物を置かないこと
・本機の受光部やリモコン先端部にほこり等を付着させないこと
・本機正面に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないこと



リモコンの故障防止のために

リモコンの故障を防ぐために次のことに留意してご使用下さい。

・分解、改造をしないこと
・リモコンの上に重いものを載せないこと
・直射日光が当たるところに長時間放置しないこと
・リモコンに液体などをこぼさないこと



他のリモコンで本機が誤動作する場合について

まれにテレビ用リモコンなどで本機のリモコンと同じ信号を送出するものがあります。このようなリモコンの影響を受けて本機が誤動作する場合は、干渉している機器と本機を遠ざけて設置するか、干渉している側のリモコンコードを変更することで解決する場合があります。機器側の取扱説明書等でご確認ください。

リモコンの単品購入について

添付のリモコンは単品購入することが可能です。
港北ネットワークサービス株式会社までお問い合わせください。

3.5 使用するまでの準備－初期設定をする－

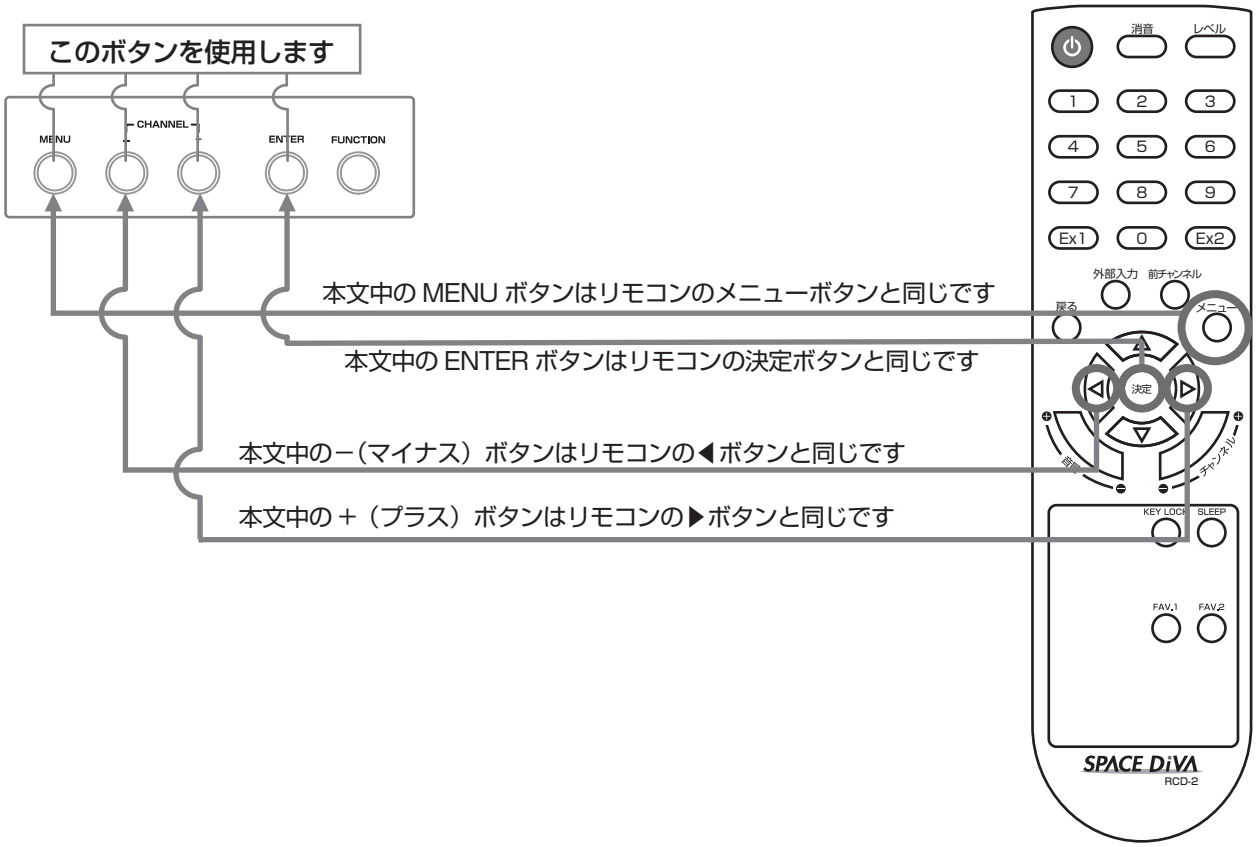
お使いのアンテナに合わせた受信設定が必要です

0. 事前準備

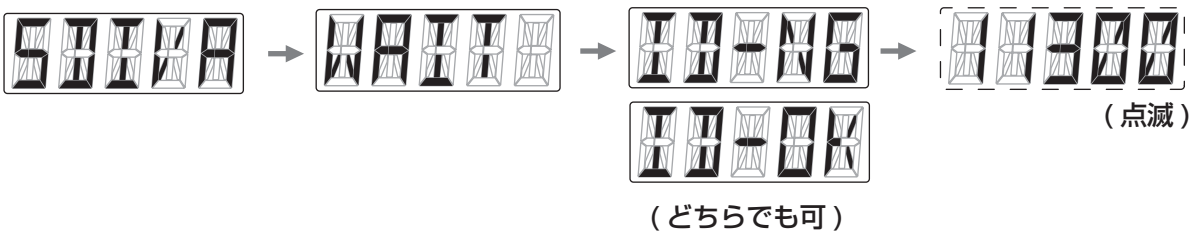
まず、アンテナの設置作業が済んでいることを確認してください。アンテナの設置方法についてはお使いのアンテナの取扱説明書をご覧下さい。本機の推奨アンテナはミュージックバード DMB4503 です。

すべてのケーブルの接続を終えたら、本機をコンセントに接続してください。接続から約 15 秒経過したら、本機の POWER ボタンを押します。その後は下記手順に従い初期設定を行う必要があります。

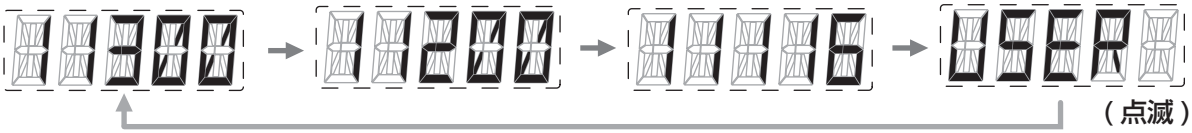
ここでは、本機前面のボタンを操作して設定作業を進めます。主に使用するボタンは下図の 4 つです。左から MENU ボタン、－（マイナス）ボタン、＋（プラス）ボタン、ENTER ボタンと表記します。リモコンでも同じ操作ができます。リモコンで操作する場合は MENU ボタンを「メニューボタン」、－（マイナス）ボタンを「◀ボタン」、＋（プラス）ボタンを「▶ボタン」、ENTER ボタンを「決定ボタン」とそれぞれ読み替えてください。



1. 本機の POWER ボタンを押すと、ディスプレイが次のような表示に変わります。



2. 点滅している値はアンテナの局部発振周波数を示しています。お使いのアンテナの取扱説明書などに記載の周波数に、本機の－（マイナス）ボタンと＋（プラス）ボタンで合わせます。これらのボタンを押すたびに表示が次のように変わります。

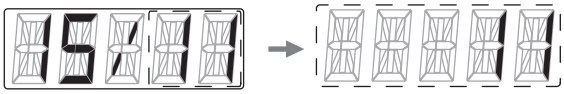


本機の推奨アンテナ DMB4503 は 11300 です。お使いのアンテナに周波数を表示させたら、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと点滅が停止します。

USER について

“USER” が点滅しているときに ENTER ボタンで決定すると、アンテナの局部発振周波数をリモコンの数字ボタン（0～9）で入力することができます。入力中は点滅表示になります。入力後、ENTER ボタンで確定します。

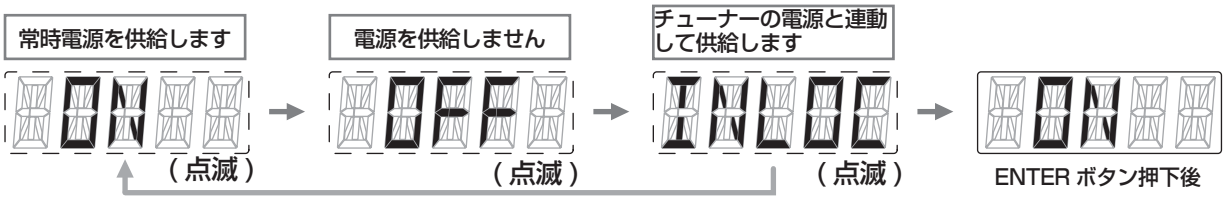
3. 次に ENTER ボタンを押し、アンテナコンバーター動作電圧の設定に入ります。表示が下図のように変わります。－ボタンと＋ボタンを押し、動作させたい電圧を点滅させます。目的の電圧が点滅したら ENTER ボタンを押します。点滅が停止し、設定電圧のみの表示になります。DMB4503 をお使いの場合はどちらの電圧でも構いません。



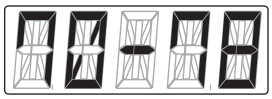
コンバーター動作電圧の設定について

アンテナコンバーター動作電圧はアンテナの取扱説明書に記載されています。2台のチューナーを1台のアンテナで使用するなどの場合、本機から電源を供給させたくない場合がありますが、電源供給の設定は次項で行いますので、ここでは仮に供給した場合の電圧で設定しておいてください。

4. コンバータ電源の供給設定をします。－ボタンと＋ボタンで3つの動作モードから使用環境に適合した設定を選び、ENTER ボタンで確定してください。確定すると点滅が点灯に変わります。1台のアンテナで1台のチューナーを使用する場合など、通常は ON に設定します。

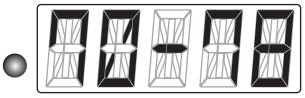


5. ENTER ボタンを押すと衛星受信レベルの表示に変わります。ここで受信レベル 70 以上であることを確認します。70 に満たない場合はアンテナを微調整してください。極端に低いか、または 0 の場合は、アンテナとの接続と設定した内容をご確認ください。
レベル表示の左側は現在値、右側はピーク値を示しています。



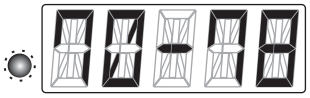
6. 十分なレベルで受信できていることを確認できましたら、正しい衛星を受信しているかを下図の通り確認します。

－正しい衛星を受信しているとき－



↑スタンバイ LED が緑色に**点灯**している（点灯するまで10 秒程度時間がかかることがあります。）

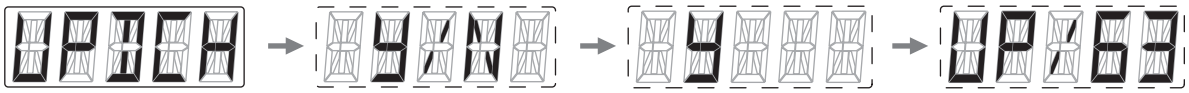
－異なる衛星を受信しているとき－



↑スタンバイ LED が緑色に**点滅**している

OTEHR と表示される

7. レベルと衛星の受信を確認できたら ENTER ボタンを押してください。番組情報更新を行います。Y/N と表示されるので、Y が点滅されている状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの点灯表示になりますので、さらに ENTER ボタンを押します。UP/＊＊という表示に変わり、更新が始まります。



(ENTER 押下後)　(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(ENTER を押す)

8. CH200 を自動的に受信します。アンプの電源などを入れ、音声を確認します。音声が確認できたら、このままの状態でミュージックバードカスタマーセンター（03-3221-9000）にお電話をお掛け頂き、本機を設置・交換した旨をご連絡ください。その際、本機のチューナー ID とスマートカード ID が必要ですので、添付の保証書などでご確認頂いた上で、オペレーターにお伝えください。ミュージックバード側でスクランブル解除手続きを行います。

本機のチューナー ID とスマートカード ID

ここに添付の ID シール
を貼ると便利です

チューナー ID は SN から始まる番号、
スマートカード ID は SC から始まる番号です

以上で初期設定は完了です。

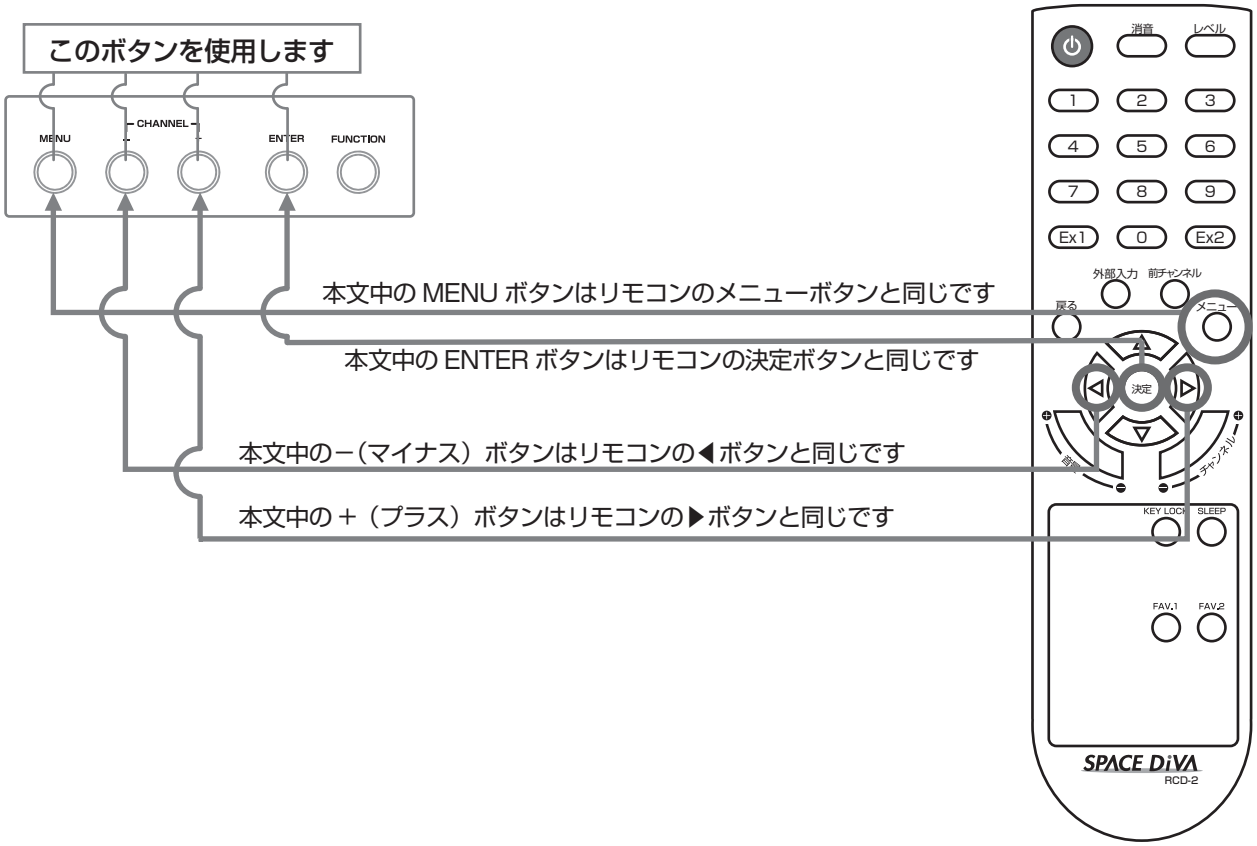
4.1 便利な機能を使う－タイマープレイ機能－

いつも聴きたい番組を自動で再生できます

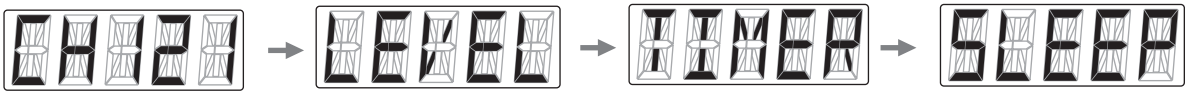
タイマープレイについて

タイマープレイ機能とは、ご希望のチャンネル、開始時間、終了時間を本機に入力することで、自動的に本機をON/OFF する機能です。本機と接続した録音機器などと合わせて使用することで、夜間の番組などの自動録音などが可能になります。

まずタイマープレイの設定方法についてご案内します。登録した内容の削除については本項後半に記しています。

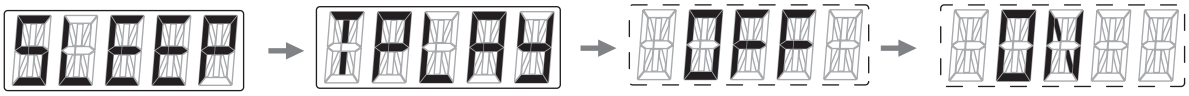


1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると２回、＋ボタンで送ると５回押すと TIMER 表示になります。
   TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。



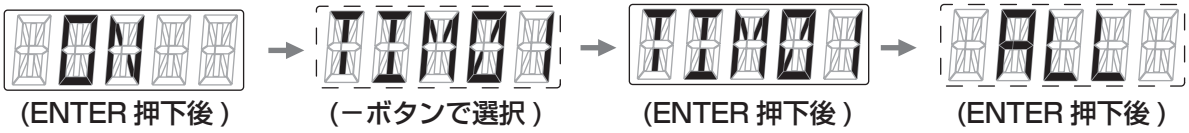
（起動後）　(MENU 押下後）　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後）

2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを１回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう１度－ボタンか＋ボタンを１回押し、ON 表示に変えます。OFF にすると、タイマープレイ機能が無効になります。

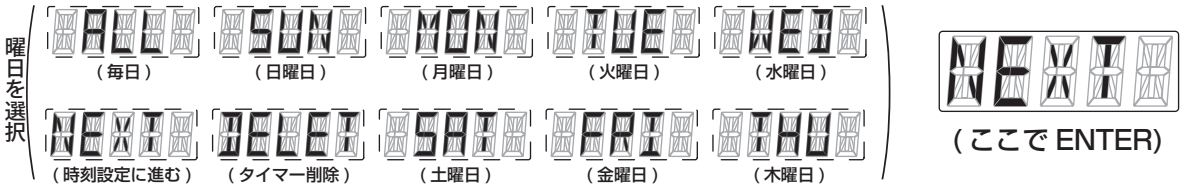


（前項より）　(－ボタン１回）　(ENTER 押下後）　(－ボタン１回）

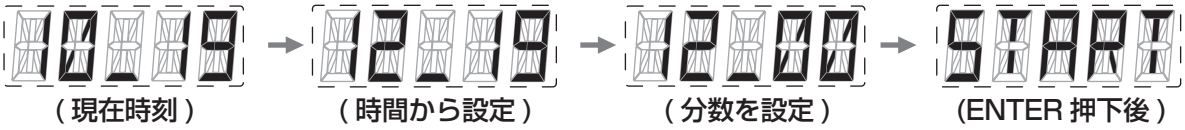
3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを１回押します。TIM01 という表示に変わります。－ボタンか＋ボタンを押すことで、TIM01 ～ TIM32 まで選ぶことができます。これは登録できるタイマーの管理番号を示しています。ここでは仮に TIM01 を選択します。TIM01 が表示されたら ENTER ボタンを２回押します。



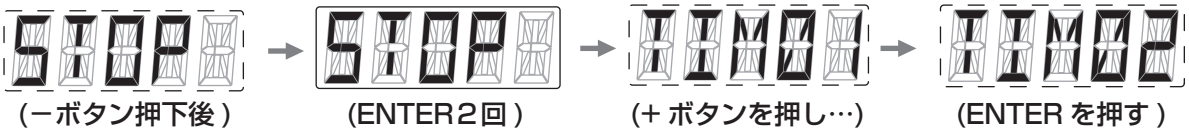
4.ALL と点滅表示している状態で、－ボタンと＋ボタンで設定したい曜日を表示させます。目的の曜日が表示されたら ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押された曜日は、曜日の前に [＊] が表示されます。ALL を選択すると、全ての曜日に＊がつきます。選択が終了したら、－ボタンか＋ボタンで NEXT が表示されるまで送ります。表示されたら ENTER ボタンを押し、次の時刻設定に進みます。（曜日選択をしないと次に進むことはできません。）



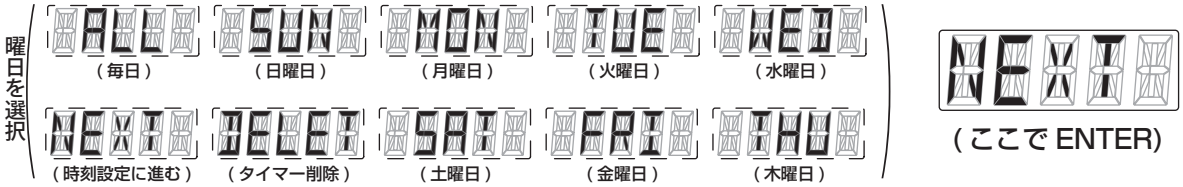
5. 前項で NEXT から ENTER ボタンを押すと、時刻設定に入ります。ここでは８時 30 分から 12 時ちょうどまでタイマープレイを設定すると仮定します。まず、終了時間から設定します。現在の表示は現在時刻になっていますので、－ボタンか＋ボタンで　12　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させます。続いて、－ボタンか＋ボタンで　00　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させます。



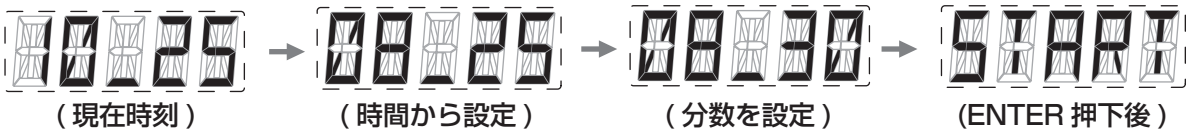
6. 前項で ENTER ボタンを押すと、START と点滅表示されるので－ボタンか＋ボタンを押し、STOP 表示に変え、ENTER ボタンを押します。更に ENTER ボタンをもう１回押すと表示が TIM01 に変わります。ここまでで、TIM01 には 12 時に本機の動作を停止させることを記憶させたので、TIM02 に対して８時に起動させることを登録することにします。－ボタンか＋ボタンを押し、TIM02 を表示させ、ENTER ボタンで確定します。



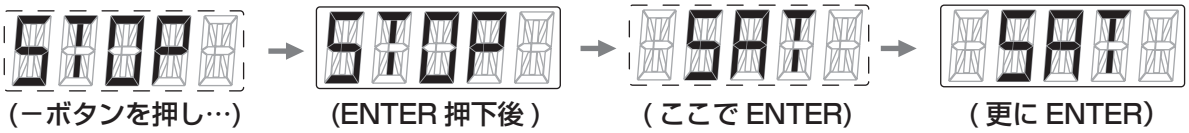
7. 更に ENTER ボタンをもう 1 回押すと、ALL と点滅表示します。再度曜日設定を行いますが、ここでは「4」で TIM01 に対して行った曜日設定と同じ設定をしてください。－ボタンと + ボタンで設定したい曜日を表示させ、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押された曜日は、曜日の前に [＊] が表示されます。ALL を選択すると、全ての曜日に＊がつきます。選択が終了したら、－ボタンか + ボタンで NEXT が表示されるまで送ります。表示されたら ENTER ボタンを押し、次の時刻設定に進みます。（曜日選択をしないと次に進むことはできません。）



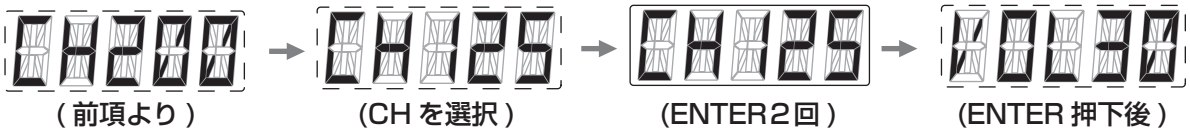
8. 前項で NEXT から ENTER ボタンを押すと、時刻設定に入ります。ここでは8時 30 分から 12 時ちょうどまでタイマープレイを設定すると仮定しました。ここまでで、終了時間までの設定を終えていますから、開始時間を設定します。現在の表示は現在時刻になっていますので、－ボタンか + ボタンで　08　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させます。続いて、－ボタンか + ボタンで　30　となるまで送り、ENTER ボタンで確定させます。



9. 続けて ENTER ボタンをもう 1 回押し、SAT と点滅表示させます。この状態でもう 1 度 ENTER ボタンを押します。点滅が止まりますので、さらに 1 回 ENTER ボタンを押します。



10. 前項の操作で表示はチャンネル番号になっています。ここで－ボタンか + ボタンを押し、目的のチャンネル番号に変更してください。チャンネル変更後、ENTER ボタンを 2 回押して確定します。



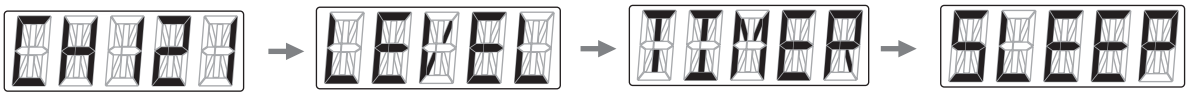
11. 続いてボリューム設定の表示になります。本機では無効ですので、そのまま ENTER ボタンを2回押します。表示が TIM01 に戻ります。これで設定を終わりですので MENU ボタンを押します。なお、タイマープレイが適用されているチャンネルには T という表示が付くようになります。

タイマープレイ設定を全て削除するには…

TIM01 ～ TIM32 に設定されたタイマープレイを全て削除する手順についてご案内します。TIM＊＊に対して個別に削除することもできます。個別削除の方法は次項にてご案内しております。

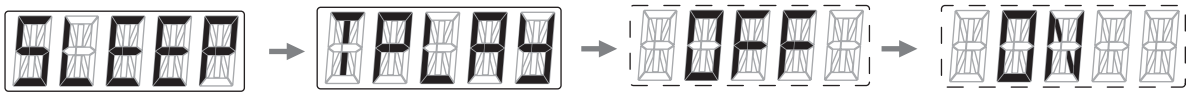
タイマープレイ設定を全て削除すると元に戻すことはできません。もし、一時的にタイマープレイを使用したくない場合は前項「タイマープレイについて」の手順 2 においてタイマープレイを無効にしてください。設定内容は保持されたままタイマープレイ機能を OFF にできます。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと + ボタンで TIMER という表示に切り換えます。MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 2 回、+ ボタンで送ると 5 回押すと TIMER 表示になります。TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。



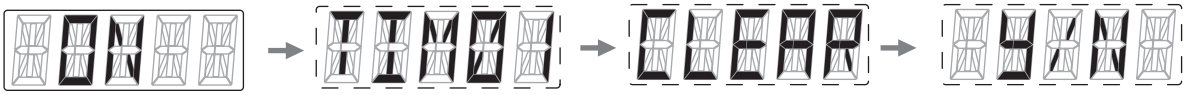
(起動後)　(MENU 押下後)　(－と + で送り…)　(ENTER 押下後)

2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか + ボタンを 1 回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう 1 度－ボタンか + ボタンを 1 回押し、ON 表示に変えます。



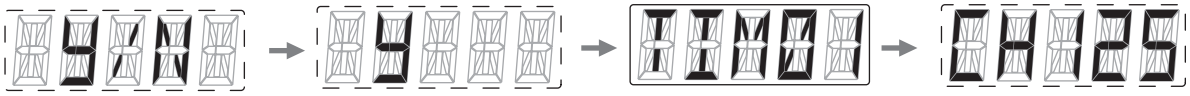
(前項より)　(－ボタン 1 回)　(ENTER 押下後)　(－ボタン 1 回)

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを 1 回押すと、TIM01 という表示に変わります。－ボタンか + ボタンを何度か押し、表示が CLEAR になるまで送ります。CLEAR が表示されたら ENETR ボタンを 2 回押します。すると、Y/N の表示になります。



(ENTER 押下後)　(－ボタンで選択)　(ENTER 2 回)　(押下後)

4. 前項の操作で表示は Y/N の表示になっています。Y が点滅している状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの表示になりますので更に ENTER ボタンを押します。これで削除されました。MENU ボタンを押し、通常表示に戻します。

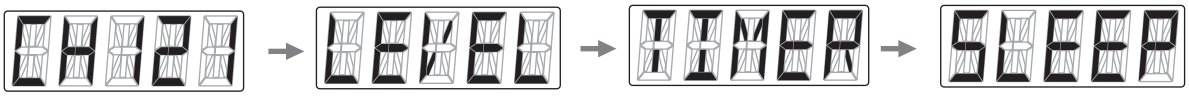


(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(MENU を押す)　(通常表示)

タイマープレイ設定を個別に削除するには…

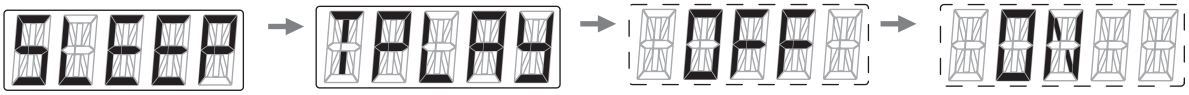
TIM01 ～ TIM32 に設定されたタイマープレイを個別に削除する手順についてご案内します。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで TIMER という表示に切り換えます。MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると２回、＋ボタンで送ると５回押すと TIMER 表示になります。TIMER 表示になったら ENTER ボタンを押します。



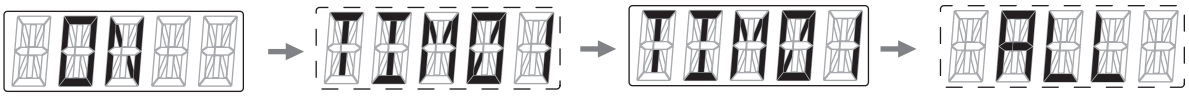
(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.SLEEP と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを１回押します。TPLAY という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。もう１度－ボタンか＋ボタンを１回押し、ON 表示に変えます。



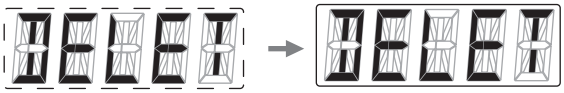
(前項より)　(－ボタン１回)　(ENTER 押下後)　(－ボタン１回)

3. 前項で ON 表示にしたら、ENTER ボタンを押します。すると、点滅から点灯に変わります。この状態で、さらに ENTER ボタンを１回押します。TIM01 という表示に変わります。－ボタンか＋ボタンを押すことで、TIM01 ～ TIM32 まで選ぶことができます。ここで、個別に削除したい TIM 番号を選択してください。ここでは仮に TIM01 を選択します。TIM01 が表示されたら ENTER ボタンを２回押します。



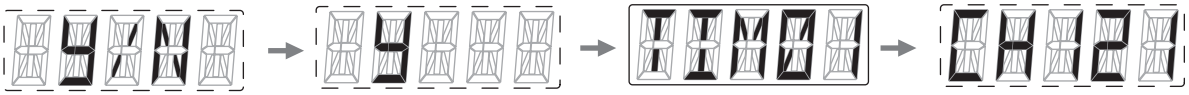
(ENTER 押下後)　(－ボタンで選択)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

4.ALL と点滅表示している状態で、－ボタンか＋ボタンを何度か押し、DELET が表示されたら ENTER ボタンを押します。



(ENTER 押下後)　(－ボタンで選択)

5. 前項の操作で表示は Y/N の表示になっています。Y が点滅している状態で ENTER ボタンを押します。Y だけの表示になりますので更に ENTER ボタンを押します。これで削除されました。MENU ボタンを押し、通常表示に戻します。



(ENTER を押す)　(ENTER を押す)　(MENU を押す)　(通常表示)

4.2 便利な機能を使う－スリープタイマー機能－

おやすみ前の BGM として本機を使用する際、便利な機能です

スリープタイマー機能について

スリープタイマー機能とは、本機を聴いている状態で、あと何分後に電源を落とすかを設定できる機能です。設定時間は 30 分、60 分のいずれかです。本体前面のボタンでも設定できますが、スリープタイマーはリモコンのほうが簡単に設定できるので、ここではリモコンによる設定方法についてご案内します。

1. 本機の電源を入れ、任意のチャンネルを受信している状態にします。そこで、リモコンのスリープボタンを押します。このボタンを何度か押すと、表示が次のように変わっていきます。

2. 30 分か 60 分かスリープ設定したい時間表示でリモコンの決定ボタンを押します。すると、チャンネル表示に S が付きます。これでスリープ設定は完了です。

スリープタイマーを解除する

設定されたスリープタイマーを解除するには次の操作を行います。

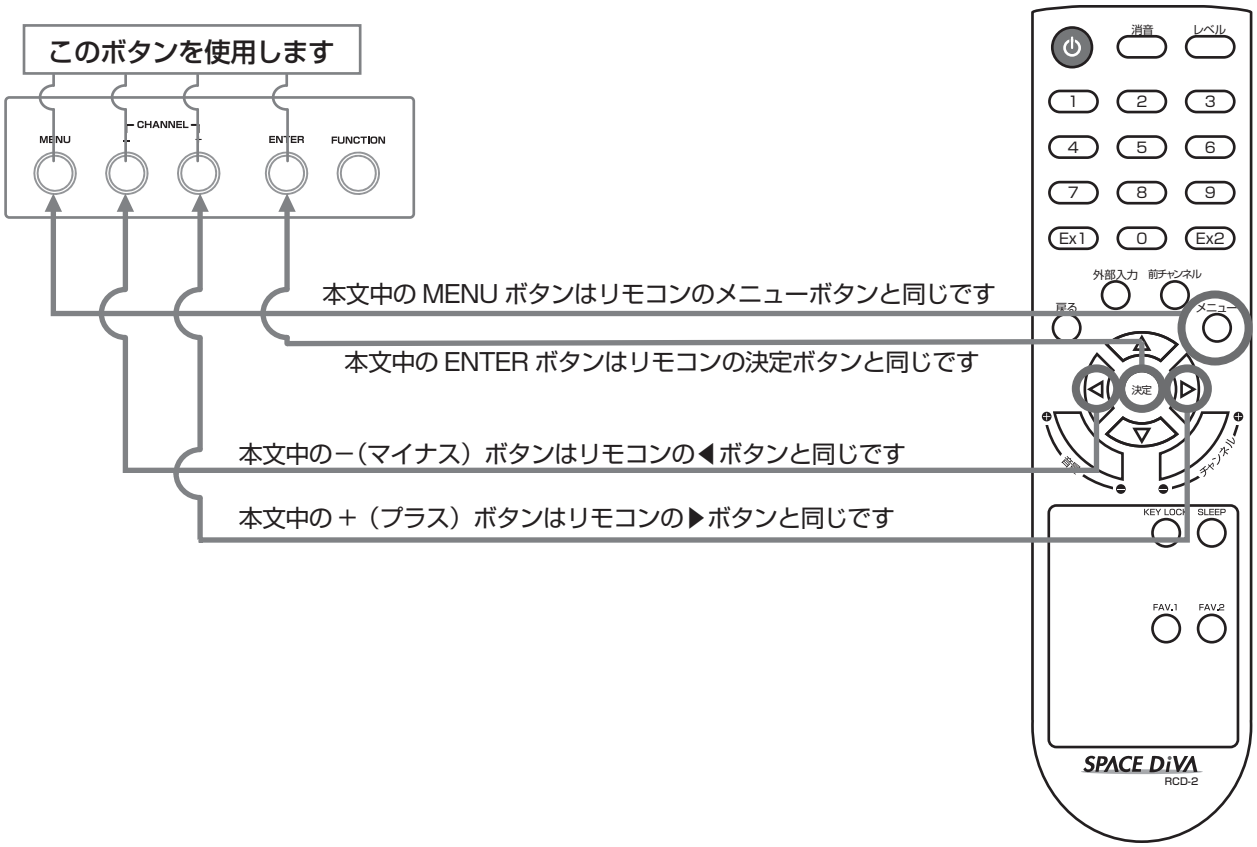
リモコンのスリープボタンを１回押します。OFF が表示されたら、リモコンの決定ボタンを押します。チャンネル表示の S が消えます。これでスリープは解除されました。

5.1 その他の設定をする－表示の明るさを調整する－

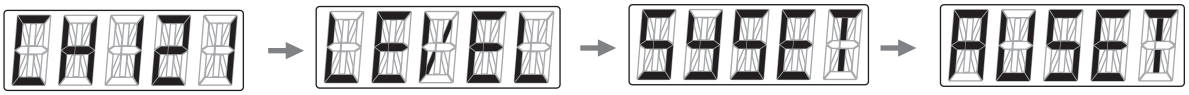
フロントの LED ディスプレイは明るさを３段階に調整できます

明るさ調整について

フロントパネルの LED ディスプレイは部屋の照度により、明るく感じたり、暗く感じたりする場合があります。そうした場合は、LED ディスプレイの明るさを３段階に調整できます。工場出荷時は３段階の中央値になっています。



1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に切り換えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。
   SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

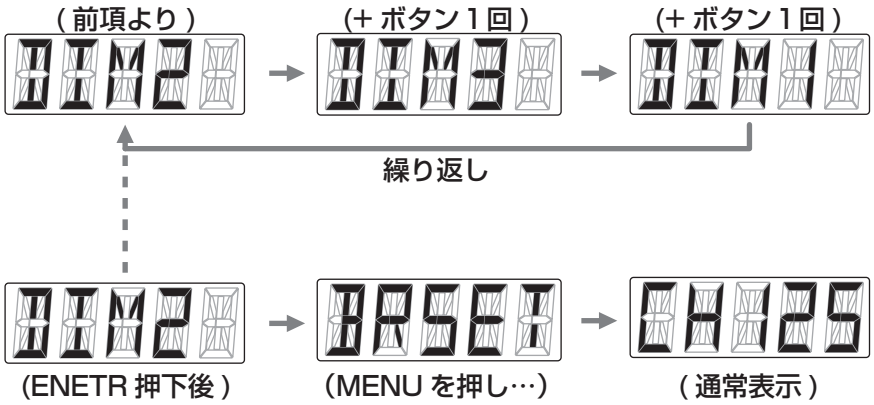


（起動後）　(MENU 押下後）　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後）

2.AUSET と表示されている状態で、＋ボタンを１回押します。BRSET という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

（前項より）　(＋ボタン１回）　(ENTER 押下後）

3.－ボタンか＋ボタンを押し、DIM１から DIM３まで、お好みの明るさに変更します。－ボタンか＋ボタンで明るさを変更すると、次のように表示が変わり、明るさも応じて変わっていきます。お好みの明るさのところで Enter ボタンを押します。MENU ボタンを押し、チャンネル表示に戻ります。



5.2 その他の設定をする－リモコンを無効にする－

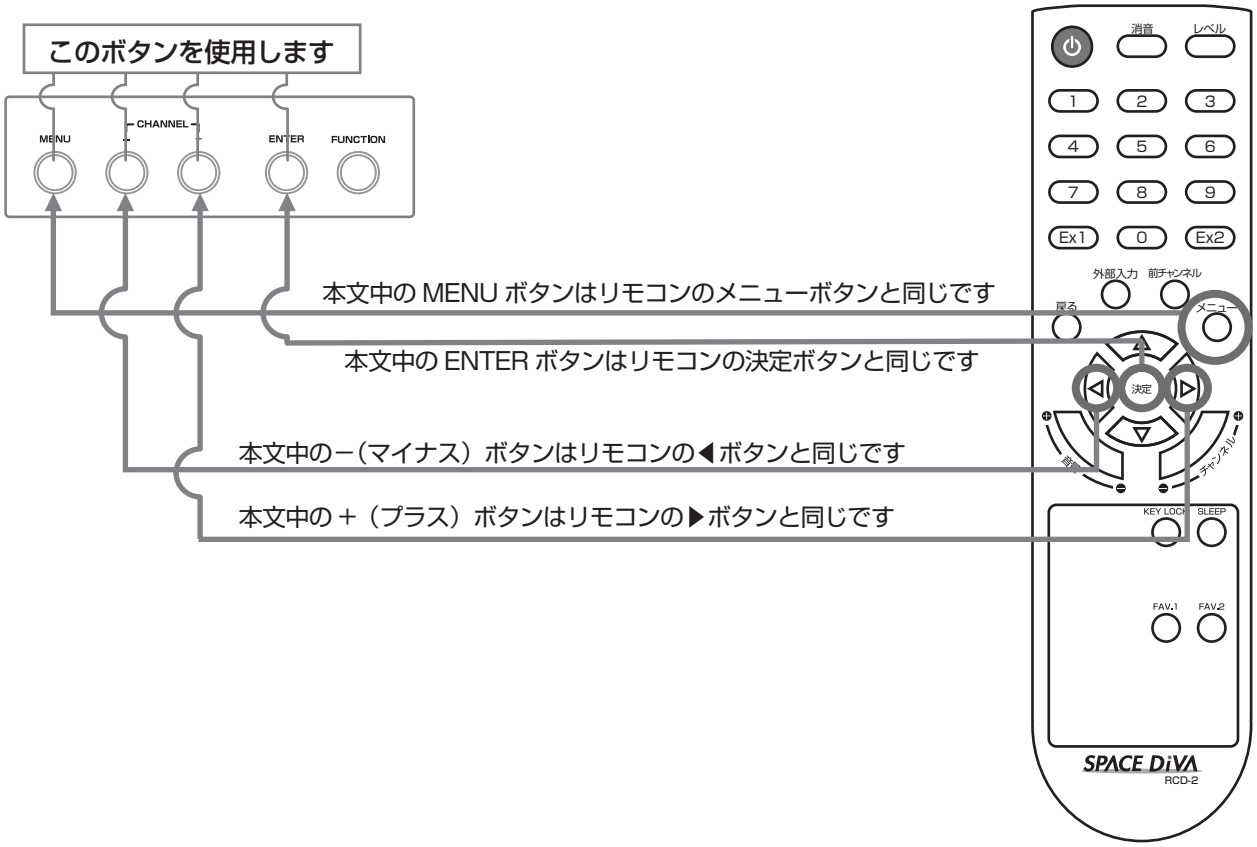
本機のリモコン機能を無効にできます

リモコンの無効設定について

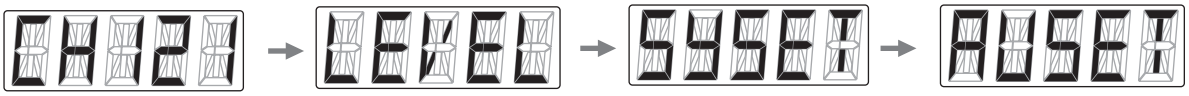
ミュージックバード対応チューナーのリモコンは一部の機能を除き、全機種共通で使えます。その為、複数台のミュージックバード対応チューナーを設置していると、意図しないチューナーがリモコン操作に反応することがあります。

その場合、本機のリモコン機能を無効にするか、意図しないほうのチューナーのリモコン機能を無効にすることで、目的チューナーのみ、リモコンを機能させることができます。

本機においてリモコンの無効設定をする場合は次の手順で設定します。



1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと ＋ ボタンで SYSET という表示に変えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると４回、＋ ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。
   SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

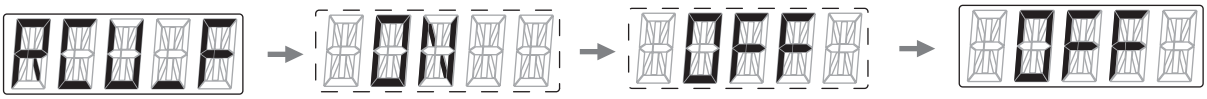


（起動後）　(MENU 押下後）　(－と ＋ で送り…)　(ENTER 押下後）

2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを２回押します。RCU という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

（前項より）　(＋ ボタン１回）　（ここで ENTER）

3. すると、RCU_F と表示されますので、－ボタンか ＋ボタンを１回押し、OFF 表示に変えます。（リモコン無効設定の状態から有効にしたいときはここで ON にしてください。）OFF 表示になったら ENTER を押します。



(前項より)　(ENTER 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

4. さらに ENTER ボタンを押し、設定を確定させます。表示が RCU_F に戻りますから、MENU ボタンを１回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

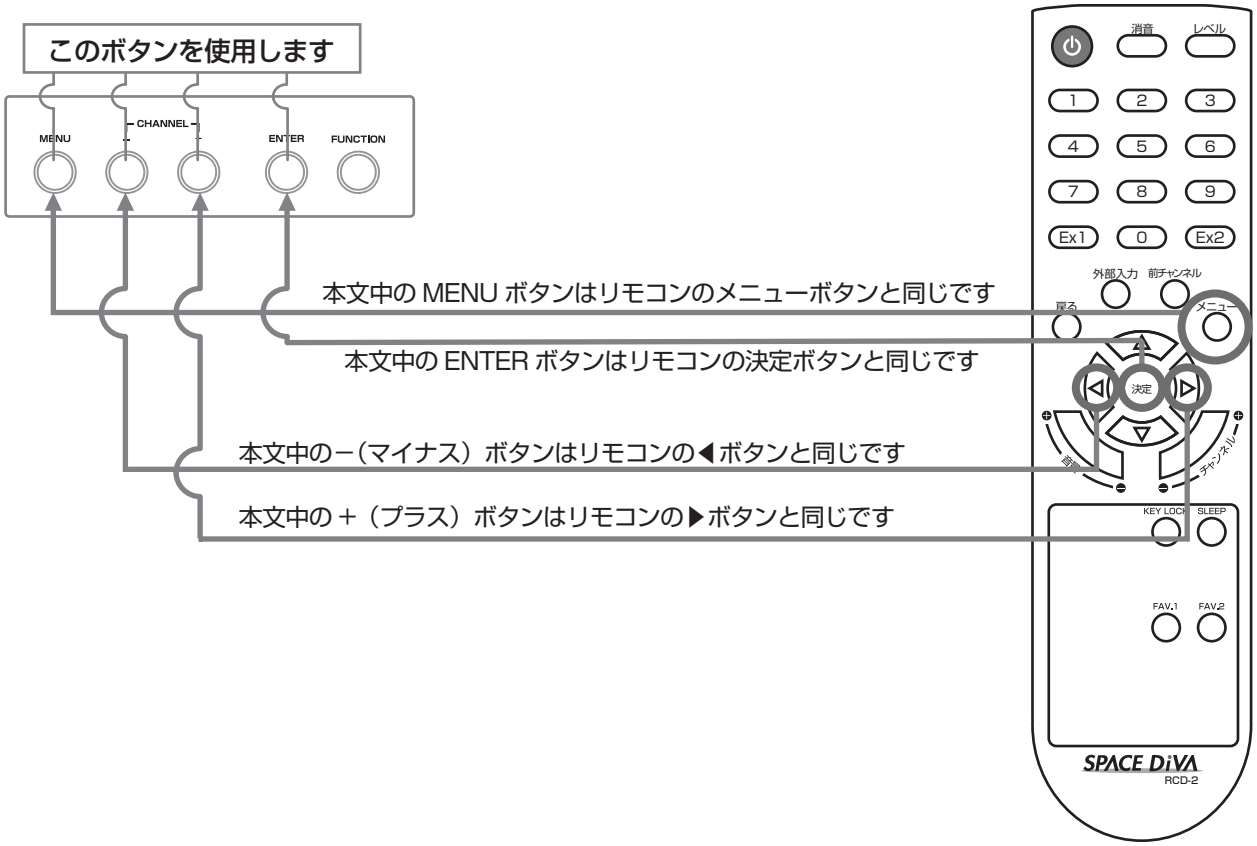
(ENTER を押し…)　(ここで MENU)　(通常表示)

5.3 その他の設定をする－スタート CH を設定する－

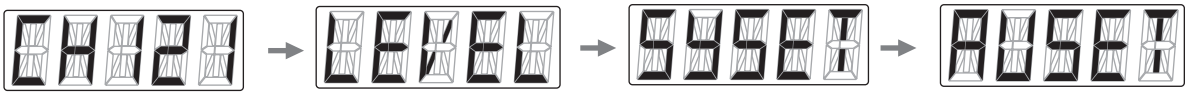
本機を起動したとき、いつも特定のチャンネルを受信するように設定します

スタートチャンネルの設定について

本機の電源を ON にしたときに、特定のチャンネルを受信するよう設定できます。工場出荷時は前回電源を切ったときのチャンネル（ラストチャンネル）になっています。リスニングスタイルに応じて変更してください。



1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると４回、＋ボタンで送ると３回押すと SYSET 表示になります。
   SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



（起動後）　(MENU 押下後）　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後）

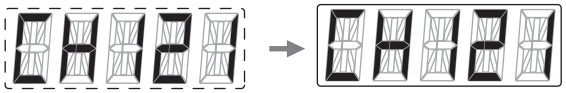
2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを３回押します。SETCH という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

（前項より）　(－ボタン３回）　(ENTER 押下後）

3.LASCH と表示されますので、－ボタンか＋ボタンを１回押し、STACH 表示に変え、ENTER を押します。

（前項より）　(＋ボタン１回）　(ENTER 押下後）

4.－ボタンか＋ボタンでスタートチャンネルに設定したいチャンネルに合わせます。合わせたいチャンネルに設定したら ENTER ボタンを押します。



(CH を設定し…)　(ENTER 押下後)

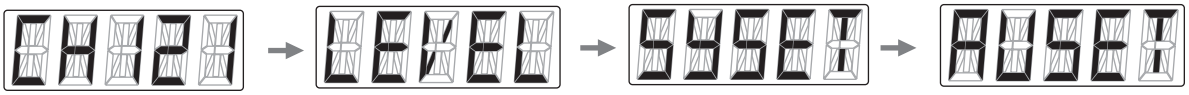
5. さらに ENTER ボタンを押し、設定を確定させます。表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを 1 回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。

(ENETR を押し…)　(ここで MENU)　(通常表示)

ラストチャンネルに設定する（元に戻す）

スタートチャンネルの設定を工場出荷時の設定（ラストチャンネル）に戻したい場合は、次の手順で設定してください。

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと＋ボタンで SYSET という表示に変えます。MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 4 回、＋ボタンで送ると 3 回押すと SYSET 表示になります。SYSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。

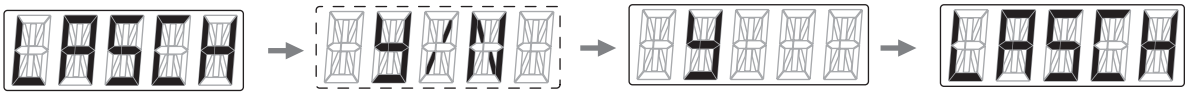


(起動後)　(MENU 押下後)　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後)

2.AUSET と表示されている状態で、－ボタンを 3 回押します。SETCH という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。

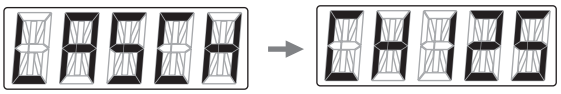
(前項より)　(－ボタン 3 回)　(ENTER 押下後)

3.LASCH と表示されますので、ENTER を押します。表示が Y/N になりますので、－ボタンか＋ボタンを 1 回押し、Y を点滅状態にさせ、ENTER を押します。Y だけの表示に変わりますのでさらに ENTER を押します。



(ENTER 押下後)　(－ボタン 1 回)　(ENTER 押下後)　(ENTER 押下後)

4. 表示が RCU に戻りますから、MENU ボタンを 1 回押し、チャンネル表示に戻します。これで設定は完了です。



(ここで MENU)　(通常表示)

5.4 その他の設定をする－番組情報を更新する－

必要な場合のみに実施します

番組情報の更新について

チャンネル表示にならない時など、番組情報の更新が必要な場合があります。
番組情報を更新する場合は次の手順で行います。

このボタンを使用します

MENU　CHANNEL　ENTER　FUNCTION

本文中の MENU ボタンはリモコンのメニューボタンと同じです

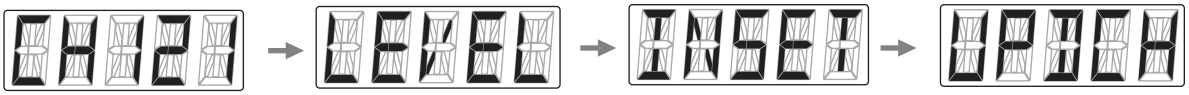
本文中の ENTER ボタンはリモコンの決定ボタンと同じです

本文中の－（マイナス）ボタンはリモコンの◀ボタンと同じです

本文中の＋（プラス）ボタンはリモコンの▶ボタンと同じです

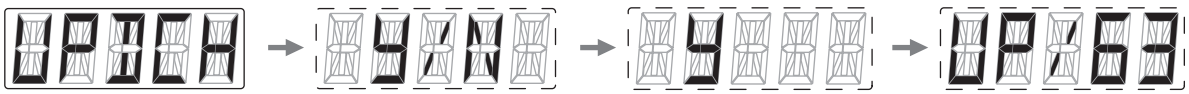
消音　レベル　1　2　3　4　5　6　7　8　9　Ex1　0　Ex2　外部入力　前チャンネル　戻る　メニュー　決定　音量　チャンネル　KEY LOCK　SLEEP　FAV.1　FAV.2　SPACE DiVA　RCD-2

1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと＋ボタンで INSET という表示に変えます。
MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると５回、＋ボタンで送ると２回押すと INSET 表示になります。
INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



（起動後）　(MENU 押下後）　(－と＋で送り…)　(ENTER 押下後）

2.UPDCH と表示されている状態で、ENTER ボタンを押します。続いて Y/N の表示になり、Y が点滅されている状態で、ENTER ボタンを押します。すると、表示が Y だけになりますので、ここでさらにもう１度 ENTER ボタンを押します。押下後、更新が始まります。



(ENTER 押下後）　(ENTER を押す）　(ENTER を押す）　(ENTER を押す）

3. 更新処理が完了すると、自動的に CH200 を受信します。これで作業は完了です。

6.1 内部動作モードを変更する

48kHz か 96kHz か、よりお好みの音質をご選択ください

内部動作サンプリング周波数の変更について

本書では内部動作サンプリング周波数の変更を行うことを便宜上、内部動作モードの変更と表記しています。

内部動作モードは 48kHz と 96kHz のいずれかを選択できます。この周波数は、衛星から受信されたデジタルデータに含まれるデジタル音声信号をオーディオアンプに受け渡せるようなアナログ音声信号に変換する過程において基準となるものです。

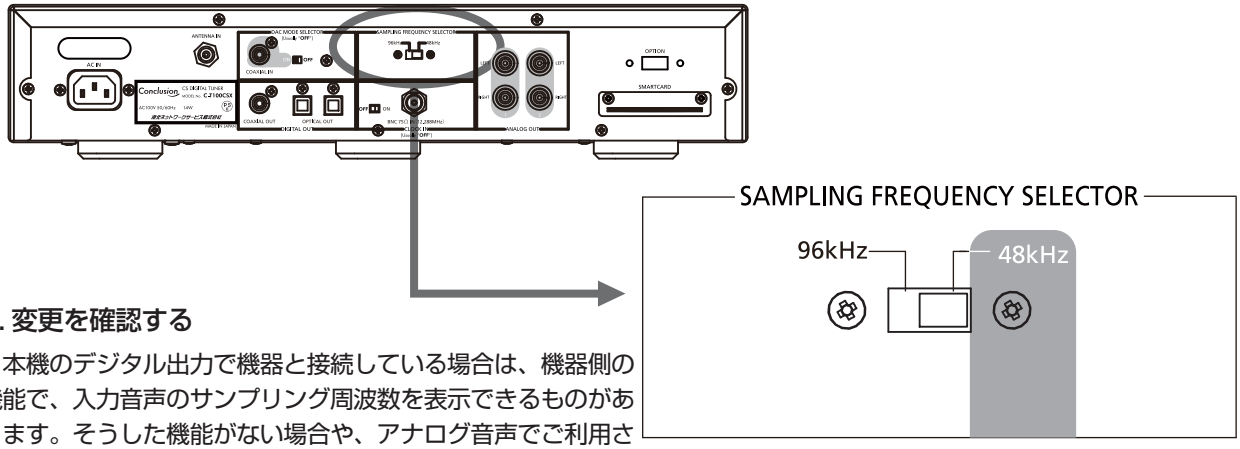
したがって、この内部動作モードを変更すると、本機のデジタル音声出力部もアナログ出力部も変更が適用されます。

工場出荷時は 48kHz に設定されています。実際に変更してみて、より音が良いとご自身が感じる設定をご利用ください。

1. リアパネルのスイッチを切り換える

リアパネルの下図に示すスライドスイッチをお好きなサンプリング周波数の値に切り換えてください。

通常、サンプリング周波数を切り替えると直ちに反映されます。万が一、本機の電源を入れた状態で変更しても直ちに反映されない場合は、本機に接続している電源ケーブルを一度抜き、再度、挿入してください。



2. 変更を確認する

本機のデジタル出力で機器と接続している場合は、機器側の機能で、入力音声のサンプリング周波数を表示できるものがあります。そうした機能がない場合や、アナログ音声でご利用されている場合は、再生音質が変わっていますので、聴感で変更を確認します。

デジタル接続で内部動作モードを変更したら音が出なくなったり、録音できなくなったりした時は…

デジタル音声入力がある機器の中には 96kHz のデジタル音声信号を受けることができないものが数多くあります。またデジタルオーディオケーブルの中には 96kHz に対応していないものもあります。お使いの機器やケーブルの仕様をご確認ください。

アナログ接続で聴いてみよう

アナログ音声出力だと音質が悪く、デジタル音声出力だと高音質だとお考えではありませんか？

ミュージックバードの衛星から送られてくる音声信号はデジタルデータです。またスピーカーを鳴らすアンプには必ずアナログ音声を入力しなければなりません。（デジタル入力ができるアンプは、内部にデジタル音声信号をアナログ音声信号に変換できる回路を搭載しています。）

つまり、デジタルデータを如何に高音質なアナログ音声に変換するかが、音の良し悪しに影響してきます。この回路を一般に DAC（Digital to Analog Converter）と呼びます。

ミュージックバードの放送を十分にデコードするには 24bit のデジタル音声入力に対応した DAC が必要です。主に CD プレーヤーとの接続を狙って作られた DAC やデジタル音声入力を搭載しているアンプ（古い機種に多い）は 16bit までしか対応していないものがあります。

本機には 24bit に対応し、ミュージックバードの放送を存分にお楽しみ頂ける高音質な DAC を搭載しています。ぜひ、本機のアナログ音声出力を 48kHz モード、96kHz モード共にお試しください。

6.2 外部クロック信号入力機能を使用する

クロックジェネレーターをお持ちの場合、本機と接続することができます

本機とクロックジェネレーターを接続する場合の制限事項について

本機にクロックジェネレーターを接続する場合、本機リアパネルの CLOCK IN のスイッチを ON にすることで、本機の内部動作モードが、本機リアパネルの SAMPLING FREQUENCY SELECTOR の切り替えスイッチの位置に関係無く、サンプリング周波数 48kHz に固定されます。意図しないトラブルを避けるために、外部クロックジェネレーターを使用する場合は、便宜上、SAMPLING FREQUENCY SELECTOR を 48kHz にしておくことを推奨します。

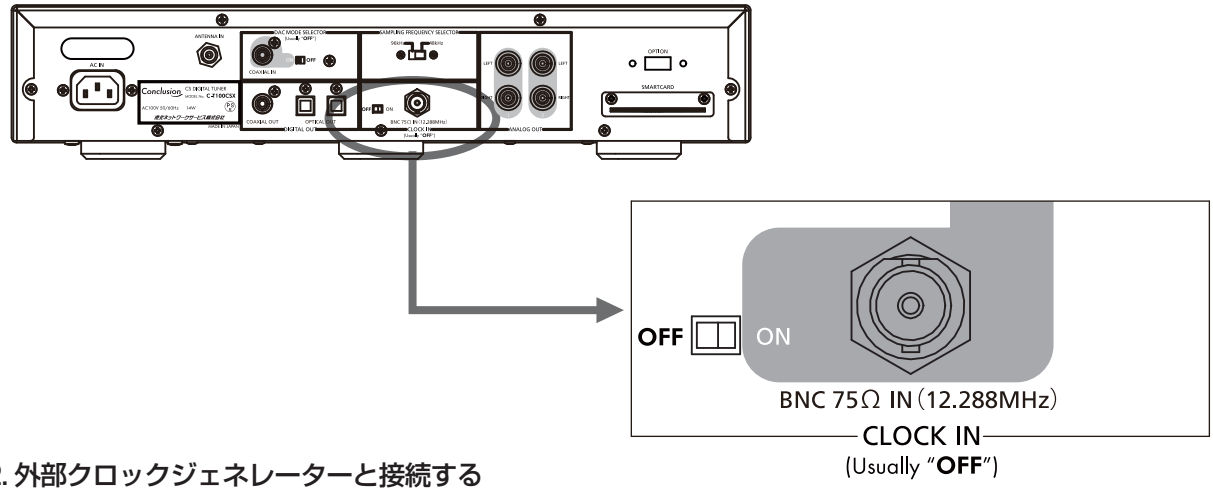
なお、本機と接続できるクロックジェネレーターは 12.288MHz のクロック信号を出力できるものに限ります。

当社製のクロックジェネレーター RB-1 や RB-2 は本機と接続して使用することができます。

本機と外部クロックジェネレーターを接続する際は次の手順で接続、設定してください。

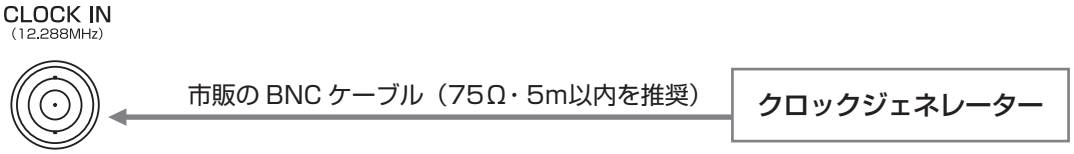
1. リアパネルのスイッチを変更する

本機の電源を切り、下図のリアパネルのスライドスイッチを ON に変更してください。



2. 外部クロックジェネレーターと接続する

本機 CLOCK IN 端子に市販の BNC ケーブルで接続してください。極力、短く接続することを推奨します。（長いケーブルで接続すると波形がなまり易くなり、クロックジェネレーターの能力を十分に生かせなくなります。）



3. 外部クロックジェネレーターの電源を入れる

外部クロックジェネレーターの中にはクロック信号が安定するまでに十分なエージング動作（＝使用前にしばらく電源を入れておくこと）を必要とするものがあります。お使いのクロックジェネレーターの取扱説明書等をご参照頂き、12.288MHz を出力させてください。

4. 本機の電源を入れる

外部クロックジェネレーターが安定動作した段階で本機の電源を入れます。

他社製のクロックジェネレーターをご使用の方へ

他社製のクロックジェネレーターをご使用の場合は接続する機器によって相性問題を生じる場合があります。接続するクロックジェネレーターの仕様等、取扱説明書でよく確認してください。

6.3 簡易 DAC 機能を使用する

クロックジェネレーターをお持ちの場合、本機と接続することができます

本機の簡易 DAC 機能について

本機は内部に高音質な DAC 回路を搭載しています。DAC とは Digital to Analog Converter の略で、デジタル音声信号をアナログ音声信号に変換することを指します。本機の DAC は通常衛星放送信号が入力されていますが、これを切り替えることで、本機に外部入力されたデジタル同軸音声信号をアナログ音声信号に変換することができます。

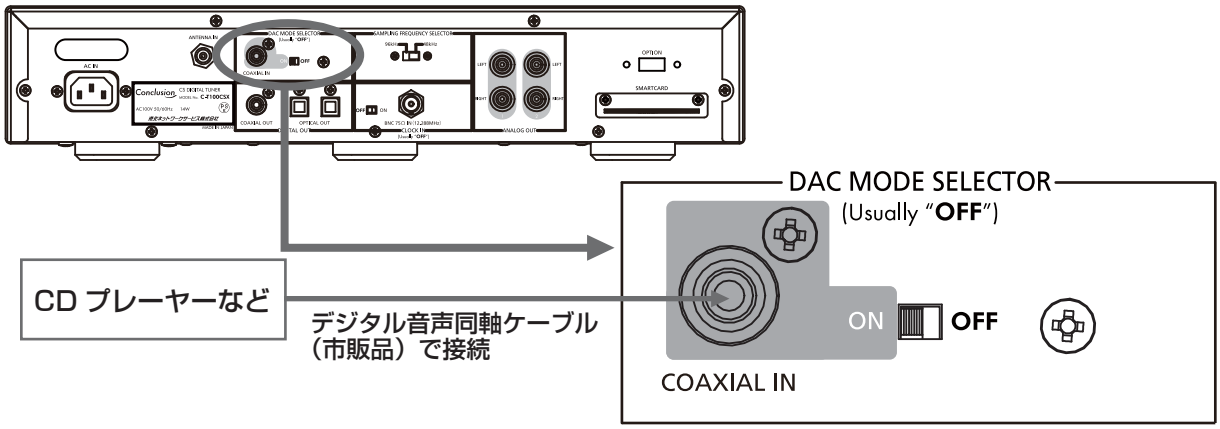
お手持ちの CD プレーヤーなどにデジタル同軸音声出力とアナログ音声出力が実装されていましたら、CD プレーヤーのアナログ音声出力をお手持ちのアンプに接続した時の音質と、本機の DAC 機能を経由してアンプに接続した場合の音質を比較頂くなどして音質の違いをお楽しみ頂けます。

本機の簡易 DAC 機能の動作条件とご留意事項

本機は衛星信号の入力の有無を検知し、DAC 機能の電源を制御しています。この関係で、本機能を使用するには、本機がミュージックバードの放送を受信できる状態にあることがまず前提条件となります。聴取契約をしていない状態で本機能を使用する場合は CH200 が受信できるかどうかを確認頂き、使用する際、この CH200 を受信している状態で本機能をご使用ください。また、荒天時など本機が衛星放送信号を受信できないと、この機能は使用できませんのでご了承ください。

1. デジタル音声を入力したい機器と本機を接続し、リアパネルのスイッチを変更する

本機で音声が出る何らかのチャンネルを受信している状態で、下図のリアパネルのスライドスイッチを ON に変更してください。



2. 本機のアナログ出力とアンプを接続する

外部入力されたデジタル音声信号がアナログに変換され出力されます。

3. 聴き終わったらスイッチを戻す

思わぬトラブルを避けるために、スイッチを元の位置に戻しておかれることを推奨します。

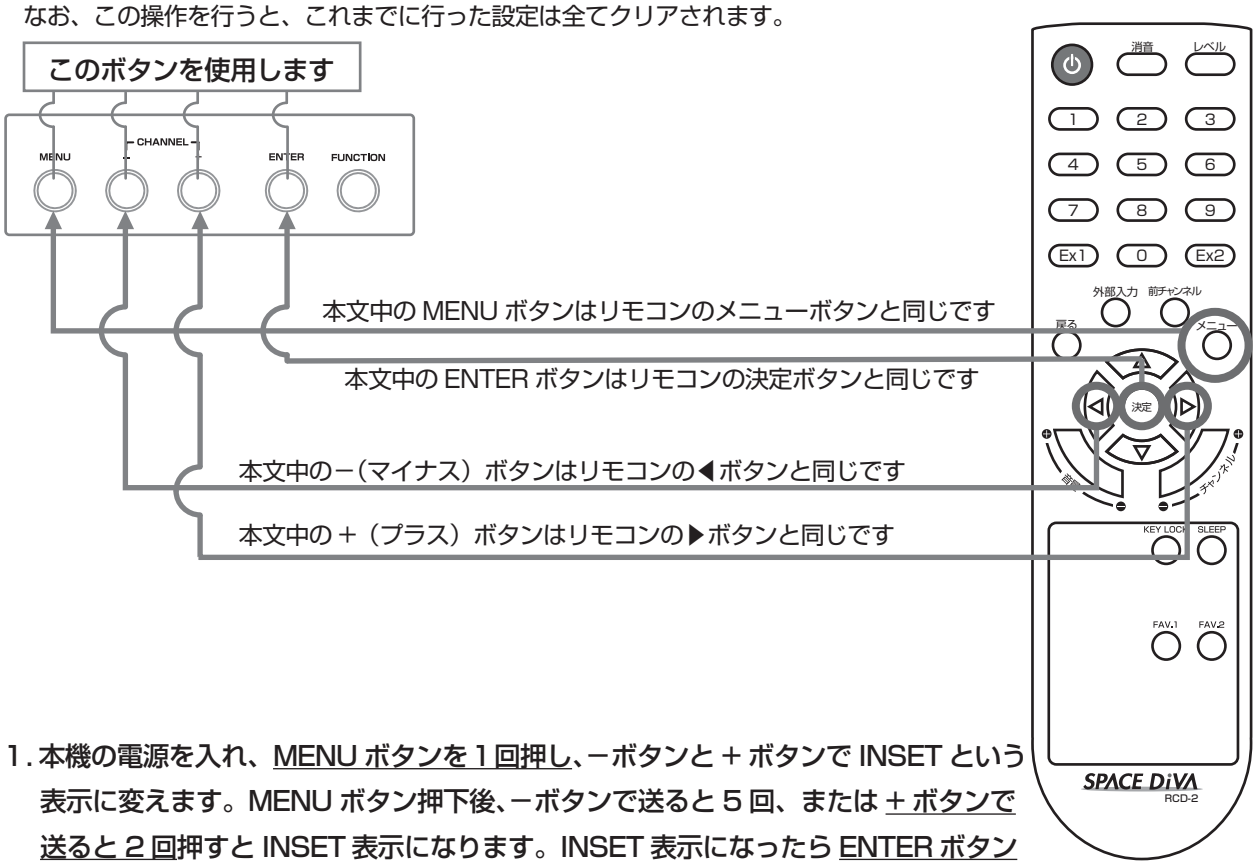
7.1 困ったときは　－工場出荷設定に戻す－

誤って不要な設定をしてしまい、お困りのときは工場出荷設定に戻してください

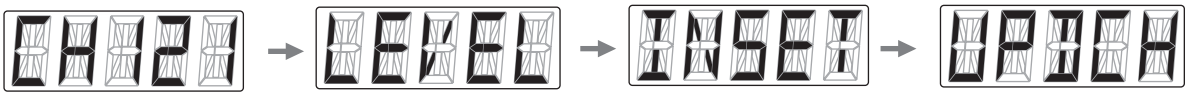
工場出荷設定について

本機チューナー基板に実装されているソフトウェアには、ミュージックバード対応チューナー全般に汎用的に対応させるため、本機には適合しない設定項目が含まれております。本機に適合しない設定については本書であえて扱っておりませんが、もし、設定操作を誤り、うまく受信できなくなったり、音が出なくなったりした場合は、本項の手順で工場出荷設定に戻し、再度 3.5 項の初期設定から設定をし直すことを推奨します。

なお、この操作を行うと、これまでに行った設定は全てクリアされます。

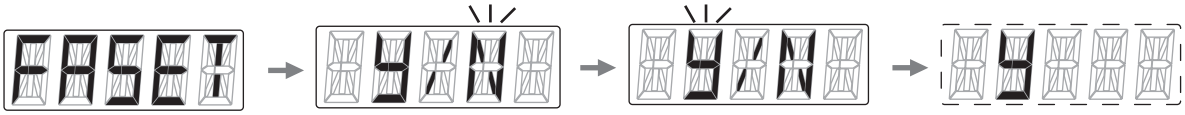


1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを１回押し、－ボタンと ＋ ボタンで INSET という表示に変えます。MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると５回、または ＋ ボタンで送ると２回押すと INSET 表示になります。INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



（起動後）　(MENU 押下後）　(－と ＋ で送り…)　(ENTER 押下後）

2. UPDCH と表示されている状態で、－ボタンか＋ボタンを２回押します。FASET という表示になりますので、ENTER ボタンを押します。続いて Y/N の表示になり、N が点滅します。－ボタンか ＋ ボタンを １ 回押して Y が点滅されている状態にします。続いて、ENTER ボタンを押します。すると、表示が Y だけになりますので、ここでさらにもう１度 ENTER ボタンを押します。



（－ボタン２回）　(ENTER 押下後）　(＋ ボタンを １ 回）　(ENTER 押下後）

3. 工場出荷状態に戻り、チューナーが再起動し、初期設定を行う状態になります。
初期設定方法については 3.5 項をご参照ください。

工場出荷時の設定内容一覧表

項目	設定値		備考
コンバーター電源供給設定	常時供給	ON	初期設定が完了するまでは OFF になっています
コンバーター周波数設定	11300MHz	11300	
受信周波数設定	12658MHz	12658	
シンボルレート設定	21096Ksps	21096	
アンテナコンバーター動作電圧	11V	11	
最大音量設定（衛星受信）	50(最大)	50	本機では無効な項目です
最大音量設定（外部入力）	50（最大）	50	本機では無効な項目です
明るさ設定	標準	LM2	
バックアップ時間	オフ	OFF	本機では必ずオフで使用してください
切替レベル設定	25	25	本機では無効な項目です
スタートチャンネル設定	ラストチャンネル	LASH	
スリープタイマー機能	オフ	OFF	
タイマープレイ機能	オフ	OFF	
入力設定	衛星受信	SAT	本機では必ず衛星受信で使用してください
音量設定	30	VOL30	本機では無効な項目です
リモコン設定	リモコン利用可	ON	
リモコンコード設定	CODE1	CODE1	本機では必ず CODE1 で使用してください
バックアップ電源供給設定	OFF	OFF	本機では必ず常時 OFF で使用してください
オーディオモード	ステレオ	STERE	本機では無効な項目です

7.2 困ったときは　－エラー表示一覧表－

エラー表示		対処方法
A001	A001	信号を受信できていません。悪天候の場合は回復するまでお待ちください。そうでない場合は、アンテナ入力端子の接続をご確認ください。
A002	A002	コンバーター電源がショートしています。本機の電源ケーブルを抜き、アンテナケーブルや他の MB チューナーの設定をご確認ください。
A003	A003	本機では使用していないエラーコードです。
A004	A004	スマートカードを挿入してください。
A005	A005	スマートカードの挿入方向が誤っています。3.2 項を参照の上、正しく挿入してください。
A006	A006	ご契約されていないチャンネルか、スクランブルが掛かっています。電源を入れてから最大で 2 時間程度お待ちいただき、それでもこの表示になる場合はミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。
A007	A007	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A008	A008	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A009	A009	ご契約されていないチャンネルか、スクランブルが掛かっています。電源を入れてから最大で 2 時間程度お待ちいただき、それでもこの表示になる場合はミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。
A010	A010	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A011	A011	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A012	A012	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A013	A013	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A014	A014	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A015	A015	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。
A016	A016	スマートカードを認識できていません。本機の電源ケーブルを抜き、スマートカードを抜き差して、再度電源を投入してください。

●上記の対処方法で解決しない場合はミュージックバードカスタマーセンターにご相談ください。

7.3 困ったときは　ー症例別ー

誤って不要な設定をしてしまい、お困りのときは工場出荷設定に戻してください

音が出ない！

本機の LED ディスプレイは正常な表示をしているのに音声が出ないときは次のことを確認してください。

本機の状態	対処方法
ミュージックバードの音が出ない。	リアパネルの各スイッチが「Usually」で示す位置になっているか、特に DAC モードになっていないか確認してください。（6.3 項）
本体からカチカチと音がしている。	設定内容に不具合があるか、リモコンなどで本機で使用しないモードに入っています。7.1 項を参照の上､工場出荷設定に戻してください。
最近アンテナを設置した。レベルはあるのに音が出ない。	異なる衛星を受信していることが考えられます。アンテナをそのまま若干、東側に向けてみて下さい。
アナログでは音が出るが、デジタルで音が出ない。	内部動作モードを確認し、そのサンプリング周波数に対応しているデジタル機器かどうかをご確認ください。
チャンネル表示と AUX を交互に繰り返している。	リモコンなどで本機で使用しないモードに入っています。7.1 項を参照の上、工場出荷設定に戻してください。
DAC モードで音が出ない	ミュージックバードの放送を受信できる状態にある必要があります。CH200 などを受信してみて音が出るか確認してみてください。

表示がおかしい

本機の LED ディスプレイが正常な表示をしていない場合、次のことを確認してください。
A から始まるエラーコードを表示している場合は 7.2 項を参照してください。

本機の状態	対処方法
チャンネル表示にならない。（LEVEL 表示になる等）	番組情報更新が正常に完了していない可能性があります。8 項を参照し、番組情報更新をお試しください。
E001 や E002 と表示されている。	電源ケーブルを一旦抜いて、再度指し直してください。それでも改善されない場合は修理をご依頼ください。
チャンネル表示が点滅している。	リモコンの消音ボタンが押されています。本機では消音機能は働きません。リモコンの消音ボタンを押して解除してください。
KEYLO という表示になる。	ボタン操作を受け付けない設定になっています。本体の FUNCTION ボタンを押しながら MENU ボタンを３秒以上押してください。
リモコン操作をしても反応しない。	リモコン動作を無効にする設定になっています。5.2 項を参考にし、リモコンを有効にしてください。
時計表示から戻らない	リモコンの決定ボタンもしくは、本機の ENTER ボタンが押されてしまった可能性があります。これらのボタンのいずれかをもう１度押してください。チャンネル表示に戻ります。

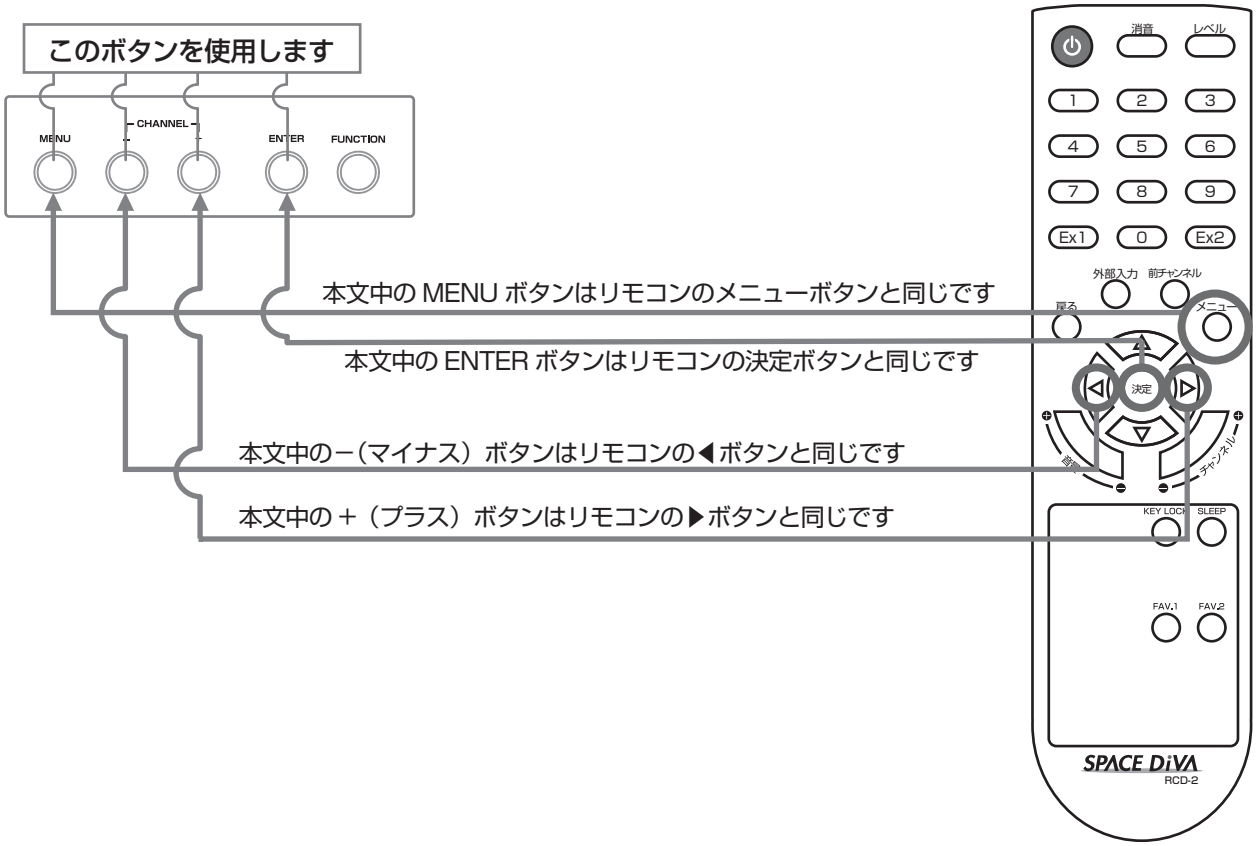
8 よくある質問－A001 が出て受信できない－

A001 という表示で受信できないときはコンバータの局部発振周波数を確認します

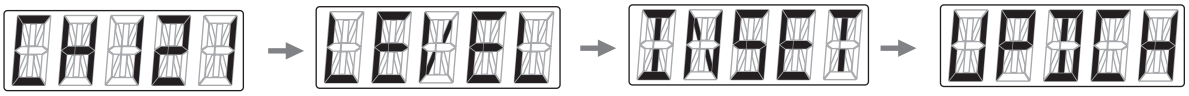
A001 エラーについて

A001 エラーはご使用のアンテナで衛星を受信ができていないことを示しています。ほかのミュージックバードチューナーで受信できる、もしくは過去にできていた場合は、本機に設定されているコンバーターの局部発振周波数の設定に誤りがある場合が多々あります。

ミュージックバード対応アンテナは通常 11200MHz（11.2GHz）か 11300MHz（11.3GHz）のいずれかです。初期設定の段階で 11.2GHz に設定されている場合は 11.3GHz の設定を、11.3GHz の設定をされている場合は 11.2GHz の設定を下記手順に従いお試しください。

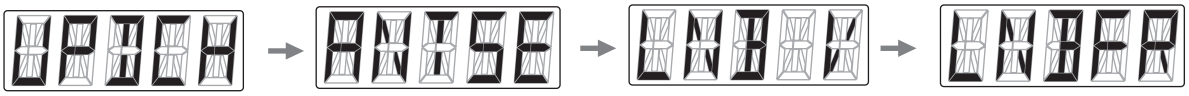


1. 本機の電源を入れ、MENU ボタンを 1 回押し、－ボタンと ＋ ボタンで INSET という表示に変えます。
   MENU ボタン押下後、－ボタンで送ると 5 回、＋ ボタンで送ると 2 回押すと INSET 表示になります。
   INSET 表示になったら ENTER ボタンを押します。



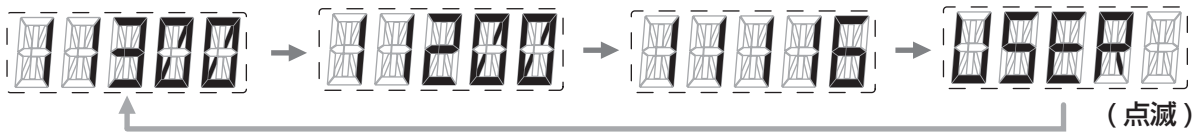
（起動後）　(MENU 押下後）　(－と ＋ で送り…)　(ENTER 押下後）

2. UPDCH と表示されている状態で、＋ ボタンを 1 回押します。ANTSE という表示になりますので、
   ENTER ボタンを押します。さらに ＋ ボタンを 1 回押し、LNBFR を表示させて ENTER ボタンを押します。



(＋ ボタン 1 回）　（ここで ENTER)　(＋ ボタン 1 回）　（ここで ENTER)

3. 点滅している値はアンテナの局部発振周波数を示しています。お使いのアンテナの取扱説明書などに記載の周波数に、本機の－（マイナス）ボタンと＋（プラス）ボタンで合わせます。これらのボタンを押すたびに表示が次のように変わります。



本機の推奨アンテナ DMB4503 は 11300 です。お使いのアンテナの周波数を表示させたら、ENTER ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと点滅が停止します。

USER について

"USER" が点滅しているときに ENTER ボタンで決定すると、アンテナの局部発振周波数をリモコンの数字ボタン（0～9）で入力することができます。入力中は点滅表示になります。入力後、ENTER ボタンで確定します。

4 .MENU ボタンを押し、チャンネル表示に戻します。設定が変更されていますので、受信できるかどうかを確認してください。

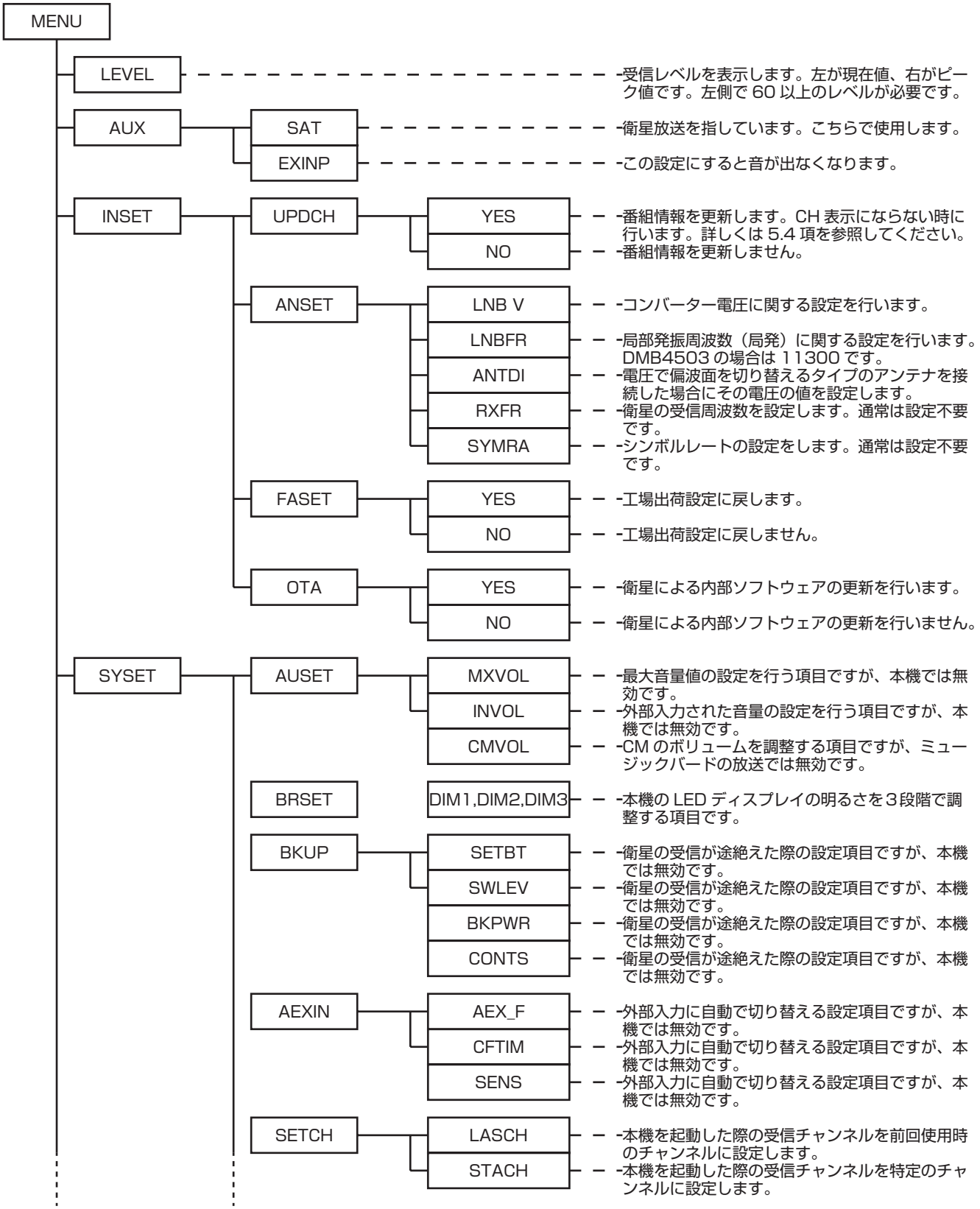
9 メニューモード一覧

本機のメニューの構成について表記しています。

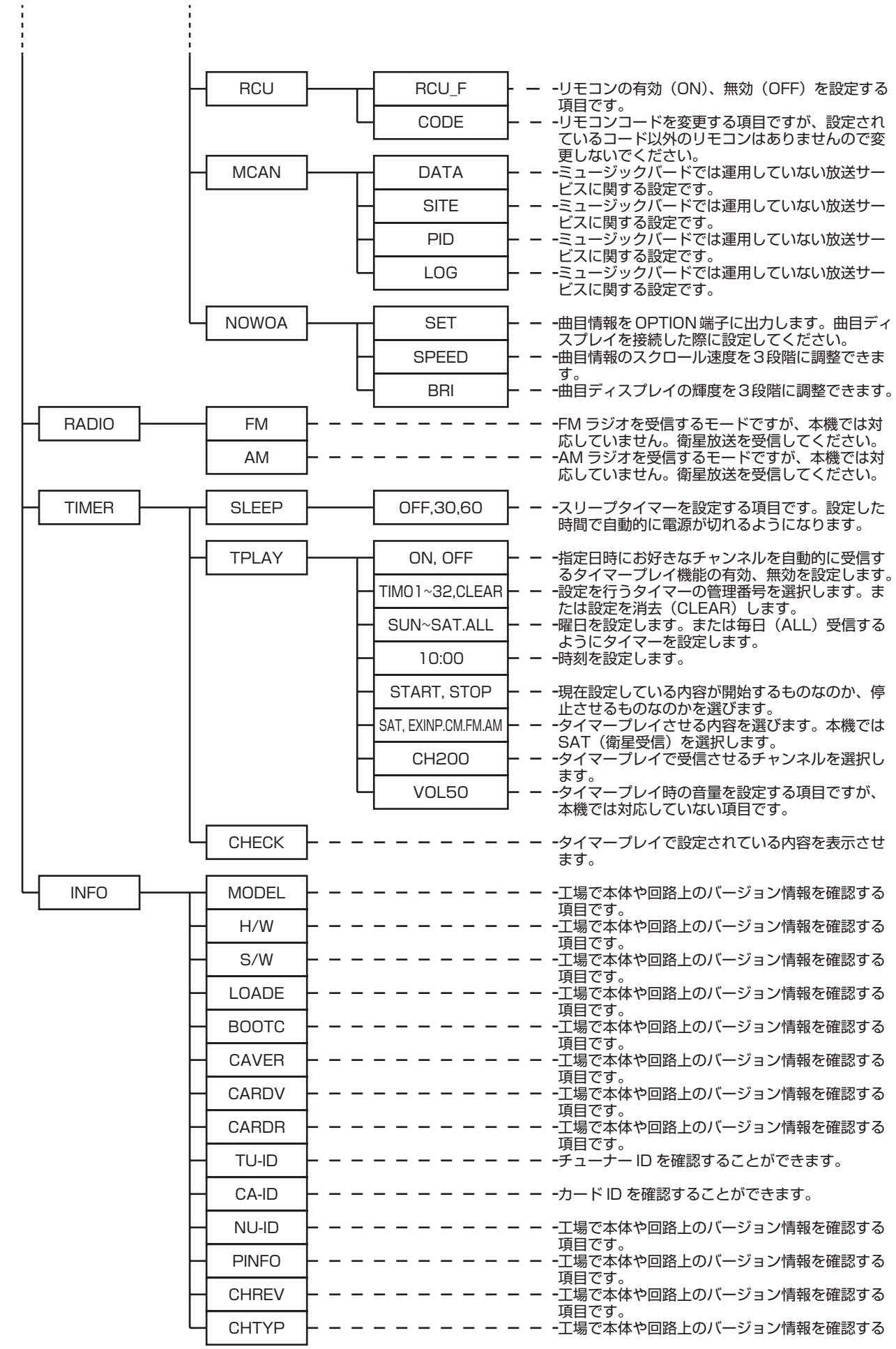
本機のメニューについて

本機に搭載されているチューナー基板は、CS 衛星放送の多様なサービスに対応したり、他のチューナーで使われる機能に対して汎用的に使用できるように、本機では使用できない機能についても設定項目が存在します。

ここでは樹形図の形で利用できない設定項目と利用可能な設定項目をご案内します。



前ページより


RCU
RCU_F
-リモコンの有効（ON)、無効（OFF）を設定する項目です。
CODE
-リモコンコードを変更する項目ですが、設定されているコード以外のリモコンはありませんので変更しないでください。
MCAN
DATA
-ミュージックバードでは運用していない放送サービスに関する設定です。
SITE
-ミュージックバードでは運用していない放送サービスに関する設定です。
PID
-ミュージックバードでは運用していない放送サービスに関する設定です。
LOG
-ミュージックバードでは運用していない放送サービスに関する設定です。
NOWOA
SET
-曲目情報をOPTION端子に出力します。曲目ディスプレイを接続した際に設定してください。
SPEED
-曲目情報のスクロール速度を３段階に調整できます。
BRI
-曲目ディスプレイの輝度を３段階に調整できます。
RADIO
FM
-FMラジオを受信するモードですが、本機では対応していません。衛星放送を受信してください。
AM
-AMラジオを受信するモードですが、本機では対応していません。衛星放送を受信してください。
TIMER
SLEEP
OFF,30,60
-スリープタイマーを設定する項目です。設定した時間で自動的に電源が切れるようになります。
TPLAY
ON, OFF
-指定日時にお好きなチャンネルを自動的に受信するタイマープレイ機能の有効、無効を設定します。
TIM01~32,CLEAR
-設定を行うタイマーの管理番号を選択します。または設定を消去（CLEAR）します。
SUN~SAT.ALL
-曜日を設定します。または毎日（ALL）受信するようにタイマーを設定します。
10:00
-時刻を設定します。
START, STOP
-現在設定している内容が開始するものなのか、停止させるものなのかを選びます。
SAT, EXINP.CM.FM.AM
-タイマープレイさせる内容を選びます。本機ではSAT（衛星受信）を選択します。
CH200
-タイマープレイで受信させるチャンネルを選択します。
VOL50
-タイマープレイ時の音量を設定する項目ですが、本機では対応していない項目です。
CHECK
-タイマープレイで設定されている内容を表示させます。
INFO
MODEL
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
H/W
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
S/W
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
LOADE
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
BOOTC
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
CAVER
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
CARDV
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
CARDR
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
TU-ID
-チューナーIDを確認することができます。
CA-ID
-カードIDを確認することができます。
NU-ID
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
PINFO
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
CHREV
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する項目です。
CHTYP
-工場で本体や回路上のバージョン情報を確認する

10 本機の仕様

受信範囲	950MHz ～ 2150MHz（2MHz ステップ）　（JCSAT-2B）	
入力端子	アンテナ入力端子	F 型　1 系統
	同軸デジタル音声入力	1 系統
	外部クロック信号入力端子	BNC　1 系統（12.288MHz スーパークロック）
音声出力端子	アナログ（RCA）	2 系統　（2V RMS）
	同軸デジタル	1 系統
	光デジタル	2 系統
D/A 変換部	24bit 48kHz / 96kHz, S/N 比 120dB	
内部動作モード	サンプリング周波数 48kHz（工場出荷時 48kHz）と 96kHz から選択	
電源	AC100V	
消費電力	14W	
外形寸法	幅 430mm 高さ 90mm 奥行 340mm	
質量	7.8kg	
付属品	（P2 を参照してください）	

注）仕様は改良のため予告なく変更されることがございます

11 お問い合わせ先

受信・契約・放送・エラー表示などに関するお問い合わせは・・・

ミュージックバードカスタマーセンター　TEL：03-3221-9000

受付時間　＜平日・日・祝 ＞10：00 ～ 18：00（12：00 ～ 13：00 を除く）
※土曜日（祝日含む）はシステムメンテナンスのため休業となります。

＊メールでのお問い合わせは　e-mail@musicbird.co.jp　まで

接続・操作・故障・修理などに関するお問い合わせは・・・

港北ネットワークサービス株式会社　TEL.045-507-3091
FAX.045-507-3092

受付時間　（平日）10:00 ～ 18:00（12:00 ～ 13:00 除く）

＊メールでのお問い合わせ、および技術的なお問い合わせは　info@k-ns.jp まで

12 保証とアフターサービス

製品保証書

品名：Conclusion C-T100CSX

保証期間： お買い上げから 1 年間

（ご購入日が記載されている領収書などを合わせて保管ください）

本機のシリアルナンバー

ここにラベル貼付されていないものは無効です

本保証書は保証期間中、以下の無償保証規定に定める範囲内で、本製品に修理依頼時と同様の障害が発生した場合に限り、無償修理をお約束するものです。
本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間内外に関わらず、当該製品におけるアフターサービスのご相談はお気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

港北ネットワークサービス株式会社

神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町1156-15-2F　TEL.045-507-3091　FAX.045-507-3092
E-Mail: info@k-ns.jp

[無償修理保証規定]

1. 保証期間中に取扱説明書などに記載されている使用上の注意書きに従った正常な使用状態で本製品が故障した場合には、修理対象品が弊社に持ち込まれた段階で、弊社がその障害の発生を認めるとき、弊社は本規定に従い、無償で修理を行うものとします。無償修理をご依頼される場合には必ず本書をご提示下さい。本保証書が無い場合は無償修理致しかねる場合がありますので予めご了承ください。
2. 無償修理をご依頼頂く際の送料は実費御負担頂く場合があります。
3. 次のような場合、無償修理保証の対象外とします。

（1）無償修理保証では製品の取扱説明書が定める通常の利用環境において使用または保管されていなかった場合
（2）地震、火事、洪水など災害を原因とする障害
（3）運送中の事故、製品の落下、落雷や停電による障害など製品に対して外部からの要因による障害
（4）弊社発行の保証書に改ざんが見られる場合
（5）ご提出頂いた保証書と弊社に保管されている修理記録に不一致が見られる場合
（6）弊社が認識していない改造が施されている場合

4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜発行元＞

港北ネットワークサービス株式会社　市ヶ尾事業所
神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町 1156-15 朝日市ヶ尾マンション2F

本機ご使用前のご注意とお願い

本機には内部で衛星放送を受信するソフトウェアプログラムが常時動作しており、この処理のために以下のような現象が出ます。これは仕様であり、故障ではありませんので、予めご了承頂けますようお願い申し上げます。

１．電源投入ができるまでに最大 15 秒程度の時間を要する場合があります

本機の電源ケーブルをコンセントに挿し込み後、直ちに前述のプログラムが作動し始めます。このプログラムの起動に時間を要するためすぐに電源投入ができません。ある程度時間をおいて電源ボタンを押してください。

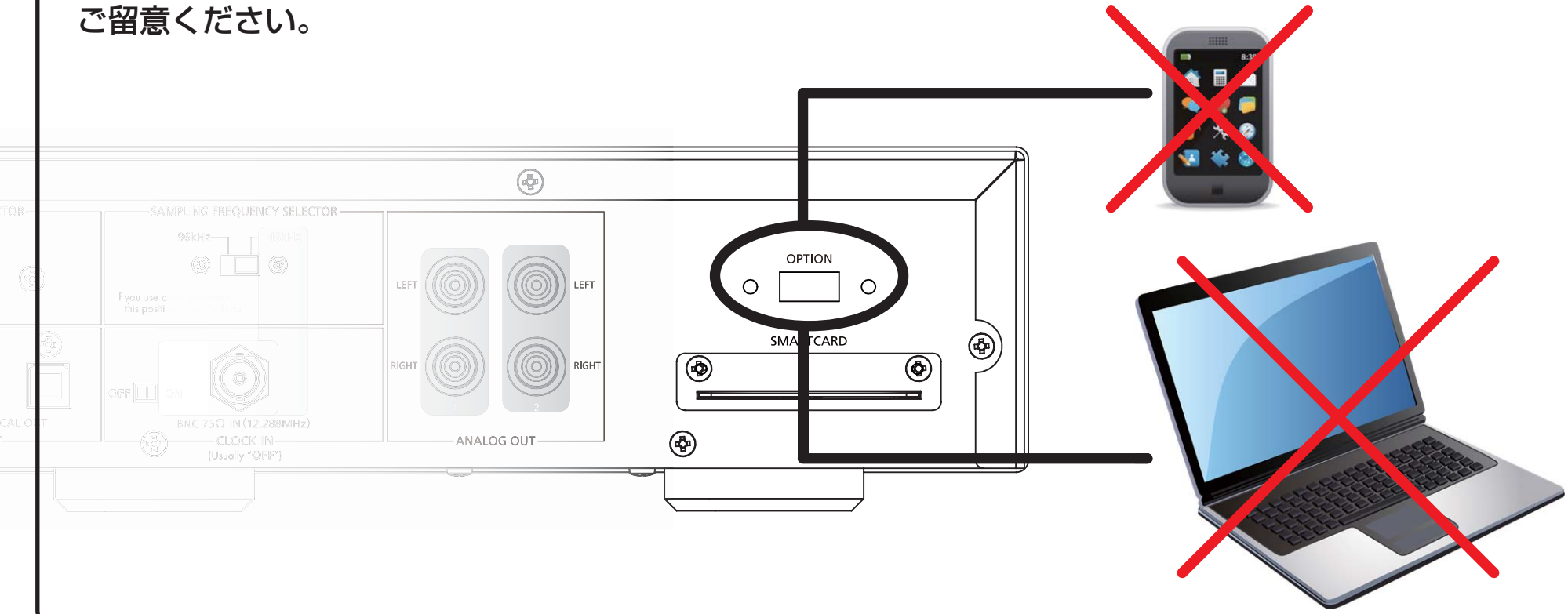
２．本機の使用中であるか否かに関わらず、内部ソフトウェアの更新作業が行われることがあります

本機の内部ソフトウェアは衛星からデータを自動的に受信して、アップデート作業を行うことがあります。この作業中はソフトウェアのダウンロード時間を示す表示（DL＊＊＊）になった後、ソフトウェアの更新処理の進行状況を示す表示（UP＊＊＊）になり、その後、数秒から十数秒かけて自動的に再起動を行います。この間は電源操作をしたり、電源ケーブルを抜かないでください。一連の処理には５分以上の時間がかかります。

３．受信チャンネルを変更すると、音が出るまで時間がかかることがあります

チャンネルを変更すると、本機のソフトウェアの処理状況により、長い場合で 20 秒程度、音が出るまで時間を要することがあります。また、この処理中、メモリに蓄積された放送音声が一瞬出力されることがあります。これはチューナー回路上の仕様であり、故障ではありません。

本機背面の OPTION 端子についてご注意とお願い

本機リアパネルの OPTION 端子は曲目ディスプレイ「MBX-1」を接続する専用のコネクタです。USB コネクタを利用していますが、流れている信号は USB の通信に準拠したものではありません。また、このコネクタには電流が流れていますので、USB 機器に絶対に接続しないでください。本機および接続した機器を故障させる原因になります。

なお、本機に MBX-1 を接続し、所定の設定を行った直後や、その後、本機使用中に OPTION 端子に接続するケーブルを抜き差しした場合は、本機を一度 OFF にし、再度 ON しないと MBX-1 に情報が表示されませんのでご留意ください。